

翻刻・龍谷大学蔵『南禅諸回向』

尾崎 正善

はじめに

今回翻刻する龍谷大学蔵『南禅諸回向』（以下、『南禅諸回向』）は、龍谷大学学術情報センター大宮図書館所蔵の史料（請求番号・龍谷大学・267.615-1）である。本資料に関しては、すでに「清規研究の問題点——南禅寺関係の清規紹介を兼ねて——」（参考論文④）において紹介を行った。

さらに、「月中・年中行事清規三本の紹介——『南禅諸回向』・『建長寺年中諷経並前住記』・『瑞鹿山圓覺興聖禅寺月中行事・年中行事』——」（参考論文⑤）において、国立歴史民俗博物館蔵『興国南禅記』（旧慈聖院蔵）一巻一冊（以下、『興国南禅記』）が同系統の写本であることと、その冒頭の一部に関して翻刻紹介を行った。本論では、それら先行の論文を踏まえ、全文の翻刻紹介を行うものである。

これまで、筆者は禅宗清規の史料収集・翻刻紹介を行ってきた。それは曹洞宗に限定せず臨済系の史料をも視野

に入れた作業であった。後にも記すが、特に南禅寺関係のものに関してはまとまった数の史料が確認されている。これまでも『鶴見大学仏教文化研究所紀要』において『大鑑清規』・『叢林拾遺』の翻刻紹介を行ってきた。本論も、そうした一連の作業の一環である。

なお、本初の表題は、外題が『南禅諸回向 正因庵』となっているので、これを使用するが、龍谷大学図書館情報センターでは『南禅寺常住緒回向并疏』という書名で登録されていることを予め御断りしておく。

一、南禅寺関係清規について

まず、今回の史料を確認するに当たって、南禅寺の清規史料に関して挙げておこう。なお、以下の一覧は、先に記した(参考論文④)の一部に手を加えたものであることを御了承願いたい。

〈南禅寺関係清規〉 (*—筆者未見)

- | | | | | | | |
|----|----|---------------------|------|-------------------|-------------------|----------------------|
| ①. | a. | 大鑑清規 | 一卷一冊 | 写 | 清拙正澄 (1274-1339) | 南禅寺聴松院蔵 (東大史料編纂所謄写本) |
| | b. | 大鑑広清規 | 二卷二冊 | 写 | 今津洪嶽氏蔵本 (大石守雄氏紹介) | [現、花園大学蔵・Z1 #662] |
| ②. | a. | 大鑑禅師小清規 | 一冊 | 写 | 寛永二 今津洪嶽氏蔵本 | [現、花園大学蔵・Z1 #664] |
| | b. | 大鑑小清規 | | | 無著道忠手沢本・妙心寺東海菴 | * |
| | c. | 大鑑禅師小清規 | 一冊 | 刊本 | 元禄十一年 (大正蔵八一) | |
| ③. | a. | 叢林拾遺 (東漸略清規) | 三卷一冊 | ・東漸建易 (1344-1423) | 京都大学・Ind-ph-Q-39 | |
| | b. | 叢林拾遺略清規 (東漸清規、建易清規) | 一冊 | 東漸建易 | 無著道忠写・妙心寺東海菴本 | * |
| | c. | 叢林拾遺略清規 | 三卷二冊 | 建仁寺両足院蔵 (大石守雄氏紹介) | * | |

④. 南禅清規

二卷二冊・大永三年(1523)頃

京都大学・Ind-ph-Q-36

⑤. a. 南禅諸回向(旧正因庵蔵)

一卷一冊・文明十一年(1479) 龍谷大学・267.6-15-1

b. 興国南禅記(旧慈聖院蔵)

一卷一冊・国立歴史民俗博物館

⑥. 葦菴日用

一卷一冊

内閣文庫・和18157

以上のように、筆者が現時点で確認した南禅寺関係の清規は、六系統、一二本の史料が存している。この内、本論では⑤. a. 南禅諸回向(旧正因庵蔵)・b. 興国南禅記(旧慈聖院蔵)を取り上げる。

二、表題ならびに形状

最初に、本清規の簡単な書誌を記しておく。

〔南禅諸回向〕

外題 南禅諸回向 正因庵 (表紙に直接墨書。題箋無し)

内題 五山之上瑞龍山太平興國南禅々寺月中須知

南禅寺常住諸回向并疏

奥書 元禄四年辛未、佛誕生日周圍修補焉

正因庵 (裏表紙裏)

形状 縦二七・五センチ・横二〇・二センチ

丁数 六八丁

〔興国南禅記〕

外題 興国南禅記

（表紙に直接墨書。題箋無し）

外題 年月須知

諸回向

本山誌

開山国師行状

南院国師行状

内題 五山之上瑞龍山太平興國南禅々寺月中須知

南禅寺常住諸回向并疏

奥書 ナシ

形状 縦二五・八センチ・横一八・四センチ

丁数 八七丁

『興国南禅記』は、田中穰氏の旧蔵本で、その書誌・内容に関しては、田中本調査団編「田中穰氏旧蔵典籍古文書」所収記録類目録」（『国立歴史民俗博物館研究報告』第72集、一九九七年三月）を合わせて参照して頂きたい。なお本論で『南禅諸回向』を主に用い、『興国南禅記』を補足的に使用する。

三、成立の時期

次に『南禅諸回向』の成立の時期について確認しておこう。

史料中に記される主な年号を見ると以下のようなになる。(記載年号総てではない)

文明十一年己亥	(一四七九)	(2b)
永禄二年己未	(一五五九)	(16b)
長享三年己酉	(一四八九)	(38a)
明応九年	(一五〇〇)	(43a)
永仁元年	(一二九三)	
文安丁卯	(一四四七)	
貞治二年	(一三六三)	
寛永五戊辰年	(一六二八)	(64b)
慶長年	(一五九六―一六一五)	(66a)
元禄四年	(一六九二)	

このうち、永仁元年(一二九三)は「金剛王宝殿 上梁兩牌銘」、文安丁卯(一四四七)は「應庵祖師遺像」、貞治二年(一三六三)は、「紀綱寮本回向双紙跋」と、本清規に引用される文章に付されたもので編集された年代とは直接関係しない。

このような年号とその内容を比較しながら分析すると本清規は、文明十一年(一四七九)成立の「月中須知」(五丁までの部分)に、永禄二年(一五五九)頃(六―五八丁の部分)と寛永年間(一六二四―一六四三)(六四―六七丁の部分)の二段階の増補が確認される。これは、後にも述べるが、『興国南禅』との重複箇所を見ても明らかであろう。

また、五九〇六六丁の部分に関しては、前の部分と明らかに別の筆であるが、どの時期に挿入されたかは明らかでない。三段階以上の増補があったとも考えられる。さらに、最終的には元禄四年（一六九一）の修理の記録がある。

本清規は、その基本だった文明十一年の「月分須知」に時代を追って重層的に増補したもので、本来の形式は月毎の行事の一覧表に過ぎないものであった。ちなみにこの形式に関しては、鎌倉建長寺『建長寺年中諷経並前住記』一冊（文明二年・東大史料編纂所301556（影写））と『瑞鹿山圓覺興聖禪寺月中行事・年中行事』一卷一冊（お茶の水図書館成實堂文庫蔵）と全く同じ形式であることは、先に拙稿で述べたとおりである。しかし、本清規の主要な部分は、表題が示すように、行事・法要の回向集である。この回向集の部分は、そこに記される年号から、永禄二年以降の増補と考えられるが、これらはそれまでの行事を踏襲しつつ、各種行事の増補に対応して回向を整備する必要に迫られたからであろう。また、寛永年間の増補部分もあるが、それは後半の四丁（八丁か）にしかすぎず、分量的には僅かといえよう。

そして、元禄四年（一六九一）の修復の記録があることから、その時代に至るまで南禅寺の行事に継続的に使用されていたと推測される。

四、内容・特徴

最後にその内容と特徴について、『興国南禅』との比較も含めて、簡単に述べておこう。

先の成立年代に関する考察でも述べたように、その成立段階はおよそ三段階であるが、主たる内容は表題が示すように回向文が中心となる。

まず、一丁から五丁の表までが、「月中須知」と呼称される、一ヶ月の行事予定と正月から十二月までの一年間の行事日程の一覧である。これは既に翻刻紹介したように、それぞれの法要の予定や忌日の名称が列記されるだけである。

五丁の裏は、榜の一覧である。

六丁から、「南禅寺常住諸回向并疏」と名付けられる年中行事を追った回向集となる。これは、先の年中行事を補足する性格のものであるが、行事自体は必ずしも合致しない。特に、先に上げた年中行事一覧は、先住忌や檀那忌がその中心を占め居ているからである。六丁の歳旦祝聖から、一六丁裏に二月八日大帝誕生、一九丁表の三月・四月二日帰雲忌と順番に記され、二九丁表の除夜土地堂念誦と年間を通して続いている。

二九丁表からは、早晨・日中・前住忌と続き、毎日の諷経の回向や年中行事に組み込まれない法要の回向文が記される。これが、四四丁表の「伏願」までである。

なお、ここまでの「年中行事・回向文」の形式は、『瑩山清規』とも類似しており、『諸回向清規式』のように、法要・行事の種類別にまとめられた「回向集」とは異なる形態といえよう。

四四丁裏は、「金剛王宝殿上梁兩牌銘」なので、回向文とは若干主旨を異にする。

四五丁表から、四八丁裏までが「榜式」である。

四八丁裏には、「兩班出班拈香之法、老者少者各宜知之 大鑑禪師小清規」と『大鑑清規』からの出班焼香の進退、五〇丁表には、「清水寺懺法規式之事」「應庵祖師遺像」さらに五一丁裏には「尊宿念誦」、「出家并授戒略作法」とある。

五六丁裏には、「諸莊園」という備忘録のような記述もあり、五七丁表から、五八丁裏までは法要の配役表や牌

の書式が記される。ここまでは永禄二年の増補箇所と思われる。

なお、以上の部分までは、『興国南禅』とも一致するので、同系統の写本であることは間違いないと思われるが、一部には前後の入れ替わりや、別文の挿入も確認できるので、本清規よりも古い系統の写本が存した可能性が想定される。

五九丁表からは、筆致もこれまでの若干異なり、後世の増補を窺わせる。記述内容も「東照宮回向」に代表されるように、江戸期の行事が記される。

六一丁表からの筆致は、完全にそれまでのものとは異なり、さらに六二丁表の「安座点眼回向」と六四丁表の「歎仏偈」もそれぞれ別の筆であると思われる。

そして最後に、「大明國師三百五十年諱之回向」（寛永十七年）が記されて終わっている。

つまり、後半の増補部分は、段階的に何人もの人によって書き加えられたものと考えられ、先に三段階と述べたが、おおよそ江戸初期までの断続的な増補と見るのが正しいであろう。これを、逆に見るならば、江戸初期の段階においても本清規が使用されていたことの証拠となろう。と同時に、それ以降は、実際に使用されていたか明らかでないともいえよう。

さて次に、『興国南禅記』との比較を行っておこう。まず、五丁までの「文明十一年」の部分はまったく同じである。さらに、『南禅諸回向』の六丁から五八丁までの記述もほぼ同様である。

詳しく見てゆくと、『南禅諸回向』の二三丁目までは、文字数・行数ともにまったく同じである。一四丁目にはいると「可漏」の書かれる場所が裏に移動しているため、丁毎の書き出しに違いが生じるが、三六丁表の「清水寺懺法満散回向」の前までは文字数・行数も含めてまったく相違がない。

しかし『興国南禅記』では、『南禅諸回向』で三六丁表にある「清水寺懺法滿散回向」は、四六丁表に移動している。

さらに、『南禅諸回向』の三九丁裏、「乗払」から四四丁裏、「金剛王宝殿 上梁兩牌銘」までの五丁分の箇所が、『興国南禅記』では、六四丁表の位置に移動している。

また、四三丁表の「私 諷経回向」の一文がない。これは「私」の記号が示すように、後の挿入なので、共通しなかったとも考えられる。

『興国南禅記』に五九丁の「十八拝之図」以下がないのは、先に示したとおりである。

逆に『興国南禅記』にのみ確認できる項目としては、『南禅諸回向』三五丁表の「小回向」の後の該当箇所（『興国南禅記』三六丁表）に、「北禅夢語録曰」として回向文の解説が挿入されている。

また、『南禅諸回向』四三丁裏の「小院住持并座元回向」の後の該当箇所（『興国南禅記』五八丁裏）に、

径山・靈隱・浄慈・天童・育王

建長寺・円覚・寿福・浄名・浄智

と、中国と鎌倉の五山が記され、次の五九丁から「南禅寺諸塔頭」として南禅院の五十一の塔頭の名称とそれぞれの祖師の名が記される。さらに六一丁表からは、「小牌式」して結制小牌式から両御忌までの十一の小牌が記される。

これに続いて、六二丁からは『南禅諸回向』五七丁表の「従方丈出則引合立紙」があり、ここからは同様の内容となる。『南禅諸回向』ではこの一段の項目が最後であるが、『興国南禅記』では、六三丁裏に「清水懺法料請取」「布施下行式」、六四丁表に「諸仏殿」があり、続いて『南禅諸回向』四四丁裏の「金剛王宝殿 上梁兩牌銘」、そ

して、最後は『南禅諸回向』四四丁裏の「伏願」となっている。

以上のように、『南禅諸回向』の三六丁目までは、ほぼ同一であるが、その後は項目の前後と一部の挿入が確認できる。

さて、『興国南禅記』の六五丁以下は、『南禅諸回向』に全く確認できない項目である。表紙にも記されている内容もあるが、以下順番に記すならば、

「天下南禅寺記」(六五丁表～七三丁表)

「勅諭南院国師規庵和尚行状・元亨釈書」(七三丁表～七四丁裏)

「龍湫和尚行状」(七四丁裏～七五丁表)

「床曆」(七五丁裏～七六丁表)

「二十五点之図」(七六丁裏～七七丁表)

「南禅寺掛搭僧名字帳」(七七丁表)

「南禅擇木寮禅客帳」(七七丁裏～八一丁裏)

「日本国皇城東五山之上瑞龍山太平興国南禅禅寺開山第一世祖仏心禅師大明国師無関大和尚塔銘」(八二丁表～八四丁裏)

「元亨釈書南院国師伝」(八五丁表～八六丁裏)

「龍門十奇頌軸序」(八七丁表)

となる。

このうち、「南禅擇木寮禅客帳」(七七丁裏～八一丁裏)は、文明十一年から元和六年まで、当時実際に配役に付

いた禅僧の名が記録されている。

今回これらは、回向文の部分とは関係しないので翻刻は行わなかったが、また稿を改めて紹介してみたい。

なお、両清規は、正因菴と慈聖院という共に南禅寺の塔頭で保管されていたことを考えると、同様の清規が他の塔頭にもあり、南禅寺の主要な法要で利用されていた可能性も想定される。

おわりに

以上、本清規の内容を中心にその書誌に関して述べてみた。今後の課題としては、南禅寺関係の総ての清規史料の翻刻紹介を目指したい。そのような作業の積み重ねの結果、相互の詳細なる内容の点検及び特徴、引用の状況、さらにはそれぞれの清規が『瑩山清規』や、後世の『諸回向清規式』等に与えた影響、相違点、そして引用状況等を明らかにすることができるとはなからうか。

このような課題を記して本論のまとめとしたい。

*最後に、本資料の閲覧及び翻刻を御快諾下さった龍谷大学学術情報センター大宮図書館に対して一言記して謝意を表したい。

凡例

- 一、龍谷大学学術情報センター大宮図書館所蔵『南禅寺常住緒回向并疏』（南禅諸回向）の翻刻である。
- 一、本清規は、六七丁で欠丁はない。

- 一、翻刻にあたっては項目の改行箇所・空白、さらに、頁分け・改行箇所等に関しても原本に準じた。
- 二、返り点・ルビに関しては、できるだけ原本に忠実おこなった。
- 一、原本では朱点で字句の区切りを行っているが、句読点の区別はない。これら区別は便宜的に筆者が付した。
- 一、字体の相違もできるだけ原本通りとした。

礼—禮・仏—佛等。

しかし、俗字・異体字・略字に関しては全部、あるいは部分的に字体をあらためたものもある。

無—无・靈—靈・燭—燭・品—只・聞—聾・図—図・事—亶・菩薩—菩・勳—勳等。

- 一、各項目、書き出し付される「○」は朱書きである。

- 一、寺院名の傍線「—」・庵点「^」の朱線が存するが、煩雑さを避けるため割愛した。

- 一、朱書きの箇所に関しては特にこれを明示しなかった。

- 一、(—)で示したのが丁数である。(3a)は冒頭からの通し番号、3aは表裏を示す。先の解説では(五丁表)という表記を用いたが、翻刻の箇所では、(5a)に該当する。

参考文献

①「翻刻・聴松院蔵『大鑑清規』」

『鶴見大学仏教文化研究所紀要』第五号・平成一二年(二〇〇〇)四月

②「翻刻・京都大学文学部図書館蔵『叢林拾遺』(東漸和尚略清規)」

『鶴見大学文学部研究紀要』第三八号第四集・平成一三年(二〇〇一)三月

③「京都大学文学部図書館蔵『叢林拾遺』（東漸和尚略清規）について」

『鶴見大学仏教文化研究所紀要』第六号・平成一三年（二〇〇二）四月

④「清規研究の問題点——南禅寺関係の清規紹介を兼ねて——」

『禅学研究』第八〇号・平成一三年（二〇〇二）一二月

⑤「月中・年中行事清規三本の紹介——『南禅諸回向』・『建長寺年中諷経並前住記』

・『瑞鹿山圓覺興聖禅寺月中行事・年中行事』——」

『鶴見大学仏教文化研究所紀要』第九号・平成一六年（二〇〇四）四月

南禪諸回向 正因庵 (表紙)

五山之上瑞龍山太平興國南禪、寺月中須知	
一日	祝聖・寢堂茶・天授・歸雲諷經・上堂 放參
二日	土地・歸雲諷經・同半齋・堂前 揔見院殿 年忌六月
三日	祖師・半齋・曇華堂 僧正 堂前 大悲咒 月泉修公都聞 年忌六月
四日	火德・日中 萬松院殿五月
五日	韋駄天・半齋・曇華堂 慈照院殿引上七日 年忌正月
六日	普庵・半齋・曇華堂 鹿苑院殿 年忌五月
七日	早晨・半齋・曇華堂 寶篋院殿 年忌十二月
八日	早晨・半齋・曇華堂 慧林院殿引上九日 晚念誦
九日	早晨・半齋・南禪院 大宮仙院
十日	早晨・日中
十一日	早晨・日中
十二日	早晨・開山諷經・同半齋・堂前・ 菊坡藏公首座 琴甫舜公藏主四月
十三日	早晨・同半齋堂前 條鉄秀公大禪定門 天正十年壬戌六月 春芳光□座元 明□洵公座元 年忌八月 年忌四月
十四日	早晨・半齋 曇華堂法住院殿・大悲咒 堂前芳林阿傳都聞 引上十六日
十五日	祝聖・寢堂茶 天授 歸雲 諷經・上堂・半齋・南禪院 同前

十六日	土地・半齋・南禪院	後醍醐天皇 年忌八月	同前
十七日	祖師・半齋・南禪院	御嵯峨院 年忌二月	晚五鳳樓
十八日	火徳・半齋・曇華堂	勝定院殿 晚念誦	放参
十九日	韋駄天・半齋・曇華堂	光源院殿 五月	晚薺葡萄林
二十日	普庵・日中		放参
廿一日	早晨・日中		同前
廿二日	早晨・半齋堂前	建紹都寺	同前
廿三日	早晨・半齋堂前	幸阿禪門	同前
廿四日	早晨・半齋・曇華堂	普廣院殿・六月	晚綾戸廟
廿五日	早晨・半齋・南禪院	御宇多院	放参
廿六日	早晨・半齋・曇華堂	最勝園寺殿 年忌十月	同前
廿七日	早晨・日中	私云 小月引上等持院殿	同前
廿八日	早晨・半齋堂前	徳海政公都聞 靈陽院殿八月	同前
廿九日	早晨・半齋堂前	善住禪門 唯王富山太禪定門由靈	同前
晦日	早晨・半齋・曇華堂	等持院殿四月	同前
右具在前			
文明十一年己未 六月日			
住山明掄			
堂司玄賀誌焉			

(2a)

(1b)

如来大師入般涅槃至今日日本國 年号幾年支干 已得二千百 載

闔山清衆七百員 沙弥幾箇 喝食 幾輩

唐三牌 皇后齊年 皇帝万歲 太子千秋 日本牌 大檀那支干本命元辰星斗 今上皇帝聖躬万歲 南方火德星君火部聖衆 或聖寿無疆

(2b)

正 月	二 月	三 月
自初一日、逐日齋前齋罷、看經。五日滿散。 六日、学苑和尚、梅津大慈 十二日、椿庭和尚、語心院。 十七日、百丈忌、儀同達磨忌半齋。大鑑禪師 大悲咒 聽松院 十八日、善月祈禱。勝定院殿半齋。 廿七日、普照大光國師 正眼院。	八日、大帝誕生 張看經榜 出班借香 即時滿散。 十五日、佛涅槃 預製疏。半齋 出班各香。 十七日、後嵯峨院。 十八日、懺法、同滿散。 廿二日、鏡智法明禪師。廿八日、勅諡佛慧圓應禪師蘭坡和尚。	三日、僧正 半齋。 十二日、玉冕和尚。 十二日、宗猷達悟禪師。 <small>弘源寺、正因庵。</small> 十八日、彦材和尚、正的院。 廿日、無惑和尚、紫王庵。 廿一日、性海和尚。 廿八日、德海政公都聞。

(3a)

七	月 六	月 五	月 四
<p>初一日、施餓鬼文貼諸堂柱。 孟蘭盆看經榜出堂外。 四日、仏徳禪師、正の院。 四日、在菴和尚。九日、大幢和尚。 十三日、午後衆寮諷經。 十四日、滿散楞嚴會。土地堂念誦、大坐湯。開山并帰雲諷經。小参</p>	<p>十八日、懺法同滿散。 十九日、太清和尚、雲門菴 廿四日、普廣院殿。 廿五日、後宇多院。 廿九日、善住禪門。</p>	<p>端午上堂 二日、普圓國師、東福本成寺。 六日、慈濟禪師 十日、大椿和尚、雲臥菴。 十九日、佛燈國師、牧護庵。大年和尚、禪林院。光源院殿。 十八日、善月祈禱。 十九日、桃隱和尚、慈觀院。 廿七日、無雲和尚。 廿九日、東陵和尚、西雲庵。</p>	<p>初一日、浴佛偈貼諸堂柱。 二日、帰雲忌。儀同百□□不具疏。次赴塔下諷經。 四日、義堂和尚、慈氏院。 八日、佛誕生、預製疏。半齋、出班各香、午後出排被位圖。 十三日、午後出楞嚴會圖。衆寮諷經。 十四日、啓建楞嚴會。午後列戒臘牌於各所、土地堂念誦、大坐湯。 開山并帰雲諷經。小参 十五日、秉拂。 十六日、芳林傳公都聞。廿日、惟肖和尚、双桂院。晦日、等持院殿。</p>

月	八	九	月	十
十五日、當晚就于山門頭諷經。施食。	十五日、雲岳和尚。	十五日、龜山覺皇御忌。自初一日、就南禪院、逐日、六番看閱毘盧大藏。	十五日、重陽上堂。同日、大宮仙院。同日、龍湫和尚、慈聖院、表米在之。	十五日、達磨忌、預製疏。隔宿諷經、出列拜之圖、半齋出班各香。
十六日、竺仙和尚、楞伽院。廿二日、建紹都寺。廿四日、虎関和尚、濟北院。	十六日、後醍醐天皇御忌、儀同龜山忌。	隔宿諷經、半齋拈香。十六日、月心和尚、本地院。	十六日、平田和尚、雲興。十八日、善月祈禱。廿二日、景南和尚、東禪院。	十六日、在中和尚、瑞雲庵。十日、履中和尚、清泰院。十四日、大業和尚、金地。
廿九日、堅中和尚、護聖院。晦日、張御忌、榜於南禪院。	十八日、雲岳和尚。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	晦日、張御忌、榜於南禪院。	廿七日、在中和尚、瑞雲庵。十日、履中和尚、清泰院。十四日、大業和尚、金地。
七日、聖徒和尚、禪栖。	二十日、蒙山和尚、上乘庵。廿八日、靈陽院殿。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。
八日、廷用和尚、德雲。九日、放牛和尚。	廿八日、靈陽院殿。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。
十二日、伯英和尚、大寧院。十三日、智覺普明國師、龍華院。	廿八日、靈陽院殿。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。
十六日、後醍醐天皇御忌、儀同龜山忌。	廿八日、靈陽院殿。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。
十八日、雲岳和尚。	廿八日、靈陽院殿。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。
二十日、蒙山和尚、上乘庵。廿八日、靈陽院殿。	廿八日、靈陽院殿。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。
晦日、張御忌、榜於南禪院。	廿八日、靈陽院殿。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。	廿七日、佛日焰惠禪師、少林寺。晦日、夢窓國師、上生院、有表米。

十一 月	十二 月
<p>十七日、無隠和尚、幻住庵。廿五日、一山國師、<small>大雲庵有表米。</small>廿六日、最勝園寺。</p>	<p>冬節、秉拂、隔宿、土地堂念誦、大坐湯、開山并帰雲諷經。小参。</p> <p>十八日、宝鑑圓明禪師、天境和尚<small>キン</small>、善住菴。</p> <p>廿一日、香林和尚、真乘院。</p> <p>廿二日、九峰和尚、定光院。廿六日、普應圓融禪師。</p> <p>廿九日、用章和尚、禪源院。廿九日、幸阿禪門。</p> <p>三日、僧海禪師、正宗庵。四日、佛昭慈明禪師、下生院。</p> <p>六日、定智禪師。七日、宝篋院殿。</p> <p>八日、佛成道、儀同涅槃。十一日、廣智國師。</p> <p>十二日、開山忌、儀同百丈忌、不具疏。次赴塔下諷經。</p> <p>十八日、懺法同滿散。</p> <p>晦日、張修正榜、土地堂念誦、大坐湯、開山并帰雲諷經。小参。</p>
<p>右具在前。</p>	
<p>文明十一年<small>己亥</small> 六月日 堂司玄賀誌焉</p>	
<p>住山明掄</p>	

(5a)

(4b)

(5b)

聖	祝
地	土
師	祖
德	火
馱	韋
菴	普
生	誕
峨	嵯
宮	大
山	龜
多	宇
酬	醞
持	等
篋	宝
苑	鹿
定	勝
勝	最

正	修
晨	早
中	日
参	放
禱	祈
法	懺
鳳	五
葡	薈
戸	綾
磨	達
丈	百
山	開
雲	帰
住	前
忌	遠
正	僧
雜	

南禪寺常住諸回向并疏

○歲旦祝聖

四節有藥師如来

藥師如来

ミミミミ

皇帝万歲藥師如来

上間兩人二返唱之、大衆亦同前和之。

藥師如来

ミミミミ

皇帝万々歲藥師如来

拏大悲咒

釋迦如来

ミミミミ

天下太平釋迦如来

消災咒罷回向前唱之、但一返唱了、大衆和之。

歎佛偈

巍巍金相

堂々覺皇

三界獨尊

万靈歸仰

沙唱之時、南禪々寺童行等

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪禪寺住持傳法沙門 某

四節旦望

書雲令節

月旦令辰

月望令辰

三陽交泰之辰

如来結制之辰

如来解制之辰

謹集合山僧衆、恭趨、

沙唱之時、除謹集合山僧衆之字。

金剛王宝殿誦秘章、

所集鴻因端為祝延、

今上皇帝聖壽萬安、

四節有藥師如来則秘章之下入称揚聖号之四字。

金剛無量壽佛仁王菩薩摩訶薩、摩訶般若波羅蜜。(Ga)

○四節旦望開山諷經小回向

仰冀真慈 俯垂昭鑑

山門伏値

三陽交泰之辰 如来結制之辰

隔宿則預於斯晚

如来解制之辰 書雲令節

山門モイニスシ每遇斯辰 日望

仍集ジシ合山比丘衆アサンヒキウシウフンズ諷誦、大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勲奉為

開山大明國師大和尚

應詔創建本寺南院國師大和尚 上ジャウジュウスイ酬慈蔭、十方三世、一切諸仏、——蜜。

○修正齋前看經 齋罷亦同

仰惟三寶 咸賜證知

山門伏值 三陽交泰之辰 謹集合山清衆 看カン閱

大乘聖教課持秘咒真詮所鳩善利回向、十方常住三宝果海、聖賢祝獻

護法諸天大權真宰三界万靈、十方至聖。

今年歲分主執陰陽權衡造化善惡聰明、南方火德星君火部聖衆 (66)

大檀那、所屬本命元辰吉凶星斗。

當山土地守護伽藍、合堂真宰、修造方隅禁忌神將

盡日本國內大小福德一切靈明、專祈 皇風永扇、帝道遐昌、佛日增輝、法輪

常轉、風調雨順、國泰民安、五穀豐登、四海清晏、兵革永息、天下太平。次冀

山門鎮靜、忠外咸安、火盜潛消、諸緣吉利、十方三世一切——蜜。

○放参 入寺日規式放参必略、大悲咒、消災咒、此外自賀州米船至岸字略之。

上來諷誦大佛頂万行首楞嚴神咒・大悲圓滿無碍神咒・消五逆災妙吉祥神咒、所集殊

勲回向。真如實際莊嚴無常佛果菩提 祝獻

護法諸天大權真宰、三界万靈、十方至聖。

今年歲分主執陰陽權衡造化善惡聰明。南方火德星君火部聖衆。

大檀那所屬本命元辰吉凶星斗。當山土地伊勢太神宮、八幡大菩薩、

賀茂下上大明神、春日大明神、巖島大明神、諏訪上下大明神、

祇園牛頭天王、北野天滿自在天神。熊野三所大權現、

賀州府南三所大明神、各宮侍衛神祇、大帝大權修利菩薩掌簿刹(7a)

官感應使者。守護伽藍、合堂真宰、乙護法天童。

尽日本國內大小福德一切靈神、修造方隅禁忌神將 先願。

皇風永扇、帝道遐昌、佛日增輝、法輪常轉、風調雨順、國泰民安、

大檀那增福增壽。次冀回、營造殿堂、永無魔事、諸莊等處、年貢運來、

賀州米船、水路無難、順風揚帆、早得到岸。

山門鎮靜、忠外咸安、火盜潛消、諸緣吉利、十方三世一切——蜜。

○二日土地

歎佛偈

神功浩々、聖德昭々、凡有禱祈、必蒙感應

仰啓聖聰 俯垂昭鑒

山門每遇斯晨、虔備香饌以伸供養。謹集合山清衆スニリンズ肅詣靈祠、諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒・消災妙吉祥神咒・化貢淨財經馬等、所集功德祝獻。

當寺護法祠山正佑昌福崇仁真君。シンユウシャウブスンジン 佛伽真身護法王西天普現大現修利菩薩。

伽藍土地護法冥王掌簿判官感應使者。乙護法天童。

本宮廟貌伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、春日大明神(76)

巖島大明神、諏訪上下大明神、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、

熊野三所大權現、賀州府南三所大明神、遠州大井大明神、各宮侍衛神祇。

專祈加護。寺門昌成、海衆咸安、火盜消除、公私清吉、諸莊豐稔、年貢

倍収、修造圓成、諸緣吉利、十方三世一切——蜜。

○每月兩開山月忌獻粥小諷經

上來諷誦大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳奉為

開山大明國師大和尚、
應詔創建本寺南院國師大和尚

上酬慈蔭、十方三世一切——蜜。

○同半齋

仰冀真慈 俯垂昭鑒

山門今月

初二日

伏值

開山大明國師大和尚、
應詔創建本寺南院國師大和尚

月忌之辰

虔備香饍以伸供養。仍集合山比丘衆諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳、上酬慈蔭、十方三世一切——蜜。

○同兩開山忌宿忌

歎佛偈。宝明空海、湛死生游狀之波、大寂定門、融今古去來之相(8a)

仰冀真慈 俯垂昭鑑

或伯對本伏願句云、不捨悲心憫三界六凡、
之種普舒光明照四生九幽之昏

山門今月 十二日、 伏値 開山大一、
應詔—— 國師大和尚示寂之辰、預於斯晚

虔備香華灯燭茶湯之儀、以伸供養。仍集合山比丘衆諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勲、上酬慈蔭、伏願

不捨悲心憫三界六凡之衆、種シ 再來末世現一花五葉之春、十方三世一切——蜜。

○至日献粥小諷經回向 見于前、宿忌献粥半齋前後啓請大衆脱帽。

○次半齋 歎佛偈同前。出班各香如常

仰冀真慈 俯垂昭鑒

山門今月 十二日、 伏値 開山大一、
應詔—— 國師大和尚示寂之辰、赴于塔下則用、
就于本菴之字宿忌亦然

虔備香華灯燭茶果珍饈、以伸供養。仍集合山比丘衆、諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勲、上酬慈蔭、伏願

不捨悲心憫三界六凡之種、再來末世現一花五葉之春、十方三世一切——蜜。

○三日 祖師 仰冀真慈 俯垂昭鑒

山門每遇斯晨、虔備香饈、以伸供養。謹集合山比丘衆諷誦 (86)

大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勲、奉為、

シスブデダモシカ 初祖菩提達磨圓覺大師、ハハ 百丈大智禪師、リタイス、
ズンシンシナイ 臨濟惠照禪師、

開山國師、上酬慈蔭、歷代祖師、增崇品位、十方三世一切——蜜。

○最勝院僧正月忌 就曇華堂半齋

仰冀三寶 俯垂昭鑒 年忌ニハ用ニ淨極光通之歡仏偈一

山門今月初三日 伏值最勝院僧正道智和尚スイシンエンズンシン 年 月 忌之辰

虔備香饌、以伸供養。年忌加茶果之儀四字 謹集合山清衆諷誦

大仏頂万——咒、所集殊勳、奉為尊靈增崇品覺位、十方三世——。月忌用之

年忌時語云 覺靈增崇品位、伏願本有靈光當下發現真空妙智

ステエンジンフタウアンシン 即得圓成普導含識、ツンサンジンハウ 同生淨邦、十方三世一切——蜜。

○四日 火徳 仰冀星天 俯垂昭鑒

山門每遇斯晨、虔備香饌、以伸供養。謹集合山清衆諷誦

大仏頂万行首楞嚴神咒、消災ス 妙吉祥神咒、所集殊勳、祝貢、

南方火徳星君火部聖衆、所祈山門寧靜火燭無虞、此大道場、永無魔事、十方三——。(9a)

○五日 韋駄天 仰冀尊天 俯垂昭鑒

山門每遇斯晨、虔備香饌、以伸供養。謹集合山清衆諷誦

大仏頂万行首楞嚴神咒、消災ス 妙吉祥神咒、所集殊勳、祝獻、

三洲護法韋駄尊天合部聖衆、厨司鑒斎使者、主湯火井竈神祇、所冀、

庫司寧靜、湯火無虞、此大道場、永無魔事、十方三世一切——蜜。

○修正滿散疏 紙数七枚 初丁十三行、中五丁各十九行、末丁十三行 總計百廿一行

佛身充滿於法界、普現一切群生前、隨緣赴感靡不周、而常處此菩提座

佛功德海 難盡讚揚

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某同知事僧某等、

稽首百拜恭聞、佛恩廣大、法力宏深、天道感而逐通、神功禱而必應、願舒

蓮眼俯鑑葵誠所伸情旨 本寺茲者 伏值

太歲——元正啓祚、四序開端、當三陽交泰之初、乃万彙發生之始。

欲祈一年之内、四季之中、万福來臨、千祥畢集、無伸稷保、有伏熏修、謹於正月一日、就于

金剛王宝殿崇建迎祥請福道場、一斯^シ五日逐日^{シユ} 二時比丘衆輪番上殿 今 古 看誦 (96)

大般若波羅蜜經、首楞嚴經、円覺經、最勝王經^{スイ}、仁王經、妙法蓮華經、金剛經

普門品、大悲神咒、消^災神咒、修礼圓通吉祥妙懺一座^今。

虔備香華灯燭茶菓之儀、以伸供養。謹集合山比丘衆諷誦、大仏頂萬行首楞嚴神咒、

化貢淨財經馬等、聊伸懺散之誠、仰賴^{シウシンサン、シジン ニヤンライハンムン イウ}彙彙之祐、所集殊勲、回向、

真如實際莊嚴無上佛果菩提 十方常住、三宝果海、無量聖賢、

大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、金剛會上四大菩薩、八大金剛、無量金剛聖衆、祝貢

方等會上護持正法大功德尊天、大辨才尊天、大梵尊天、帝釋尊天、

東方持國天王、南方增長天王、西方廣目天王、北方多聞天王、摩醯首羅尊天、

金剛蜜迹尊天、散脂大將尊天、菩提樹神尊天、堅牢地神尊天、三州護法韋馱尊天、

訶利帝南尊天、鬼子母尊天^{スメウ}、摩利支尊天、尽天輪界内無量諸天仙衆、

日月兩宮天子、南北二斗星君、南方^火德星君^火、部聖衆、周天列曜匝漢星辰、

西乾東震禪宗諸大祖師、普庵祖師會下百万^火首金剛無數天龍八部、

今上皇帝本命星君、大檀那^{千支}本命元辰、福祿壽星、堂頭和尚^{千支}本命元辰

合山清衆各々本命元辰、一切星斗、今年歲分主執陰陽權衡造化善惡聰明、(10a)

太歲尊神、十二月將三界宣奏直符使者、

當寺護法祠山正順昭顯威德聖烈大帝殿下、李王二大尉、丁壬二使者、

大權修利菩薩、伽藍土地護法明王掌簿判官感應使者、乙護法天童、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、松尾大明神、平野大明神、

稻荷大明神、春日大明神、大原野大明神、大神大明神、石上大明神、大和大明神、

広瀬大明神、龍田大明神、住吉大明神、日吉山王、梅宮大明神、吉田大明神、

廣田大明神、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、御靈八所大明神、丹生大明神、

貴布祢大明神、巖島大明神、諏訪上下大明神、熊野三所大權現、熱田大明神、

氣多大明神、吉備大明神、白山妙理大權現、氣比大明神、妙見大菩薩、若宮大權現、

綾戸大明神、賀州府南三所大明神、遠州大井大明神、遠江州初倉莊、新所郷、

加賀州得橋郷、笠間郷、樺磨州矢野莊、大塩莊、口傳 備中州成莊、但馬州池寺莊、

尾張州杜莊等處各々諸大明神、諸大權現、

尽日本國內六十餘州、諸大明神、諸大權現、各宮侍衛神祇、

厨司監齋使者、主湯火并竈神祇、修造方隅禁忌神將山林界相守護百靈 (10b)

匝寺香火有禱聖賢 尽祈禱會上無邊靈呪

統三界之万靈尽十方之至聖、是日遊空過往見聞隨喜神君。

所將重修功德平等資熏普伸饒益同資聖德降大吉祥 先願

皇帝万歳天下太平 仏法興隆、兵才偃息、風調雨順、國泰民安、

大功德主太子諸王后妃宮眷龍子龍孫、永繼聖囑同増福壽。 更冀

大檀那身躬安泰、福壽延長、長為佛法、金湯永祚。

皇家保障、子孫昌盛、家世綿延、在佛光中、無諸難事。 專祈

寺門昌盛、海衆咸安、火盜消除、軍兵無擾、王臣帰仰、法道光揚、災障不侵、吉祥駢

集、公私吉利、檀信帰崇、各々諸莊、等処禾苗、秀実水旱、無傷盜賊、無思軍兵遠離、

年稔到寺、水陸平安、万善同臻、諸縁和順、不盡功德。

四恩総報、三有斉資、法界有情、同圓種智者、

右恭請 三寶請明 天龍昭格 謹疏

太歳 干支某年 正月初五日、五山之上瑞龍山太平興国南禅々寺住持比丘某疏

上來文疏以具讃宣、十方三世——蜜。 疏畢 消災咒、三返 疏并経馬等燎焉 (11a)

看誦経文修礼懺法迎祥請福功德文疏上献

娑婆世界南瞻部州大日本国山城州五山之上瑞龍山太平興国南禅々寺住持比丘某同知事僧某 謹封

十方常住三宝果海聖賢護法諸天大権真宰

可漏ト云

○六日 普菴 仰冀真慈 俯垂昭鑒

山門毎遇斯晨、虔備香羞以伸供養。 謹集合山比丘衆諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒・消災妙吉祥神咒、所集殊勲奉為、

普菴寂感妙濟真覺昭呪 大德慧慶禪師 祝献

會^{ウイ}下^ア百^ハ万^{バン}火^コ首^{シユ}金剛無^{シユ}數^ニ天龍八部修造方隅^ニ禁忌^キ神將^{シヤウ}、所祈

寺門修造^{ツシツ}動作^ニ無^ニ虞^デ殿堂^シ備^シ成^シ柱礎^シ堅固^ク、十方三世一切諸仏——蜜。

○鹿苑院半齋 就于曇華堂

仰冀三宝 俯垂照鑑

山門今月初六日、伏值、鹿苑^{ルエン}院殿准三宮大相國天山大禪定門、月忌之辰、

虔備香羞以伸供養。謹集合山清衆諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒、所集功德、奉為 台靈莊嚴報地、十方三世——蜜。(11b)

○同年忌回向

歎佛偈 淨極光通達、寂照含^{ヒクン}虛空、却來觀世間、猶如^{ムンズ}夢中事。

仰冀三宝 俯垂照鑑 上四句偈、首楞嚴經卷第七之文也。

山門今月初六日、伏值、鹿苑院殿准三宮大相國天山大禪定門、年忌之辰、

虔備香燭茶果珍羞以伸供養。謹集合山清衆諷誦、大仏頂——、奉為

台靈莊嚴報地、伏願、處^シ生死^{サンスリウ}流、驪^リ珠^ツ獨^{ヨウ}耀^{ウイ}於^{サウ}滄^{カイ}海、踞^キ涅^ホ槃^ン岸、桂^キ輪^{リン}孤^{クラ}朗^{ウイ}於^ヒ碧^デ天、

普導世間、同登覺路、十方三世一切諸仏——蜜。或云、上伏願句出圓覺經。

○等持院殿贈從一品仁山大禪定門 台靈 四月晦日

○宝篋院殿贈從一位行左大臣瑞山大居士 神儀 十二月七日

○勝定院殿贈大相國一品顯山大禪定門 台靈 正月十八日

○普廣殿殿贈大相國一品善山大禪定門 台靈 六月廿四日

○慈照院殿准三宮贈大相國一品喜山大禪定門

台靈 正月七日

○常德院殿贈大相國一品悅山大居士

神儀 四月廿六日

○法住院殿贈一品左相府旭山大居士

神儀 八月十四日 (123)

○慧林院殿贈大相國一品巖山大禪定門

台靈 月九日

○萬松院殿贈一品左相府曄山大居士

台靈 五月四日

○光源院殿贈一品左相府融山大居士

台靈 永祿八_丑五月十九日

○最勝園寺殿演公大禪定門

神儀 十月廿六日

右各就于曇華堂半齋、年月忌回向与鹿苑院殿同。

七日、早晨回向并日中回向、十二月末二見。

○八日 慧林院殿半齋 晚念誦 上中八同

皇風永扇、帝道遐昌、佛日增輝、法輪常轉、伽藍土地、護法護人、本寺檀那、增福增壽。以上五声 為如上緣念、清淨法身——十号平音

○九日 大宮仙院月忌 就于南禪院半齋

紀綱寮旧回向双紙云、九月初九日
太皇祖妣大宮仙院、年忌云々。
乃龜山大上皇母也

仰啓懿靈 伏垂昭鑑

山門今月初九日、伏値、大宮仙院月忌之辰、

虔備香饌以伸供養。謹集合山清衆諷誦、大仏頂万——功德、奉為

懿靈莊嚴仙駕、十方三世一切——蜜。

○同年忌 歎仏偈 淨極光通達——(12b)

仰啓懿靈 俯垂昭鑑

山門今月初九日、伏値、大宮仙院遠忌之辰、

虔備香饍茶果之儀、以伸供養。謹集合山——、大仏頂——、奉為

懿靈莊嚴仙駕、伏願 頓超濁却、成就菩提、十方三世一切諸仏——蜜。

○十二日 開山月忌、法堂并渡諷經 献粥并年月忌与帰雲忌同

○十五日 祝聖 開山諷經与朔旦同

○次就于南禅院 龜山半斎

仰啓神儀 俯垂昭鑒

山門今月十五日、伏値、龜山覺皇月忌之辰、

虔備香羞、以伸供養。謹集合山清衆諷誦、

大仏頂——、勲、奉為 聖廟神儀莊嚴仙駕、十方三世一切諸仏——蜜。

○十六日 土地堂諷經

○後醍醐天皇月忌、就于南禅院半斎、回向与龜山忌同

○晚百丈忌宿忌 (13a)

歎佛偈 淨法界身、本無出沒、大悲願力、示有去來。

仰冀真慈 俯垂昭鑑

山門今月十七日、伏値

百丈大智覺照弘宗妙行禪師大和尚示寂之晨、預於斯晚

虔備香華灯燭茶湯之儀以伸供養。仍集合山比丘衆諷誦

大仏頂万行首——、殊勳上酬慈蔭、伏願不捨悲心、憫三界六凡之種、再来

末世、現一花五葉之春、十方三世一切——蜜。

○十七日 祖師堂諷經 後嵯峨院月忌 就于南禪院半齋、回向与亀山忌同

○百丈献粥

上来諷誦大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳奉為

百丈大智覺照弘宗妙行禪師大和尚、上酬慈蔭、十方三世——蜜。

○同半齋

住持点供畢、行者鳴鈸、維那出班、揖住持、次東堂、西堂、兩序、出班上香、無借香、大衆同展三拜、畢兩序歸位、維那宣疏訖諷經、回向如常

歎佛偈

淨法界身、本無出沒、大悲願力、示有去來。

日本様疏

仰冀真慈 俯垂昭鑑 (136)

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持第 世法孫比丘某 住持一拜

今月十七日、伏値百丈大智覺照弘宗妙行禪師大和尚示寂之辰、

虔備香華灯燭茶果珍饈以伸供養。住持一拜 仍集合山比丘衆同音諷誦

大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳、上酬慈蔭者、住持一拜

右伏以、一言為天下法、中矩中規、万世知師道尊、有綱有紀、

以叢林礼樂之盛、見法筵龍象之多、華梵同文、富擬石渠天祿、

經律相濟、嚴如金科玉條、有布武堂上之儀、非綿蕞野外之礼、

即此用、離此用、語脫重玄、出於機、入於機、理窮衆妙、
 宜配禪祖、以陪祀、盍遵諱日、而營齋、伏願、
 帝釈精進勝幢、制諸魔外、濟北陰涼大樹、蔭滿閻浮、謹疏、
 太歲 千支 年号幾年正月十七日、五山之上瑞龍山太平——住持第 幾 世法孫比丘某疏

住持取坐具立定

百丈大智覺照弘宗妙行禪師大和尚

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持第 幾世法孫比丘某 謹封

○次諷經小回向

上來諷經功德奉為、百丈大智覺照弘宗妙行禪師大和尚、上酬慈蔭、十方三世——蜜。

○次大鑑禪師諷經 大悲咒小回向

上來諷誦大悲圓滿無碍神咒、所集殊勳奉為

前住當山大鑑禪師大和尚、真慈增崇品位、十方三世一切——蜜。

○晚五鳳樓

仰惟三寶 咸賜證知

山門每遇斯晨、謹集合山清衆諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、

本師釈迦如来大覺世尊、千手千眼觀世音菩薩、祝猷、

(14a)

護法諸天大權真宰三界万靈十方至聖、今年歲文主執陰陽權衡造化善惡聰明。南方火德星君火部聖衆。

大檀那所屬本命元辰吉凶星斗、當山土地守護伽藍合堂真宰、

尽日本國內大小福德一切靈神、修造方隅禁忌神將 先願 (14b)

皇風永扇、帝道遐昌、仏日增輝、法輪常轉、風調雨順、國泰民安、大檀那增福增壽。次祈

山門鎮靜、忠外咸安、火盜潜消、諸緣吉利、十方三世一切々——蜜。

○十八日 勝定院殿 年忌 就于曇華堂半齋、
回向与鹿苑院殿同 ○晚念誦 同上八

○善月祈禱疏 正五九月十八日 丁数五枚 六十九行

不可思議大劫海、供養一切諸如来、等以功德諸群生、是故湛然最無比

佛功德海 難盡讚揚

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某同知事僧某等、

所伸情旨上達聖聰、山門慈者消取吉日良辰、就于 金剛王宝殿

謹集合山清衆、看閱、大般若波羅蜜多經、金剛般若波羅蜜經、

觀音普門品、大悲圓滿無碍神咒、消災妙吉祥神咒、今當滿散、諷誦

大仏頂万行首楞嚴神咒、化貢淨財經馬等、所集殊勳、回向、

真如實際莊嚴無上仏果菩提 十方常住、三宝果海、無量聖賢、

大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、祝貢、方等會上護持正法大功德尊天、

大辨才尊天、大梵尊天、帝釈尊天、東方持國天王、南方增長天王、西方廣目天王、北方多聞天王、 (15a)

摩醯首羅尊天、金剛蜜迹尊天、散指大將尊天、菩提樹神尊天、堅牢地神尊天、
韋馱尊天、摩利支尊天、訶利帝南尊天、鬼子母尊天、日月兩宮天子、南北二斗星君、
般若會上十六善神、護法諸天大權真宰、三界萬靈十方至聖、今年歲分主執陰
陽權衡造化善惡聰明、南方火德星君火部聖衆、

今上皇帝本命星君、大檀那支干本命元辰、大運小運正照傍臨吉凶星斗、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、松尾大明神、平野大明神、稻荷大明神、
春日大明神、嚴島大明神、日吉山王、住吉大明神、若宮大權現、諏訪上下大明神、

祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、熊野三所大權現、御靈八所大明神、綾戸大明神、
賀州府南三所大明神、遠州大井大明神、尽日本國內大小福德一切靈神、各宮侍衛神祇、
尽祈禱會上無邊靈貺、憑茲善利普用回嚴。先願

皇風永扇、帝道遐昌、佛日增輝、法輪常轉、風調雨順、國泰民安、天下太平、兵革永息、
大檀那身宮康健、福壽延長。次冀、山門鎮靜、忠外咸安、火盜潛消、諸緣吉利、

四恩三有、均被善功、法界含情、同圓種智者、

右伏請 三寶請明 諸天洞鑒 謹疏 (156)

太歲 干支 年号幾年 正五九 月十八日、五山——南禅々寺住持比丘某疏

上來文疏以具讚宣、十方三世——蜜。宣疏畢消災咒、三返 間疏并經馬等同燎之

看誦 經咒 功德文疏 上献

十方常住三宝果海無量聖賢

娑婆世界南瞻部洲大日本國——住持比丘某同知事僧某

謹封

○廿四日 普廣院殿月忌 就于曇華堂半齋 晚綾戸廟

○綾戸廟 歎仏偈 神功浩々、聖德昭々、凡有禱祈、必蒙感應

仰冀聖聰 俯垂昭鑒

山門每遇斯晨、謹集合山清衆恭詣靈祠諷誦、

大佛頂万行首楞嚴神咒・消^災妙吉祥神咒、所集功德、祝猷。

當寺守護綾戸大明神、合社靈神、專祈加護、山門鎮靜、中外咸安、^{火盜}消除、公^{クシ}

私清吉、諸庄豐稔、年貢倍收、修造圓成、諸緣吉利、十方三世——蜜。

○廿五日 後宇多院月忌 回向同龜山忌

○廿八日 德海政公都聞月忌 就于堂前半齋 (16a)

仰冀三宝 俯垂照鑑 年忌歎仏偈 淨極光通達云々

山門今月 幾日、伏値、某^{都聞・月} 忌之辰、^{禪門} 年

虔備香羞以伸供養。謹集合山清衆諷誦 年忌加茶果之儀

大仏頂万行首楞嚴神咒、所集功德、奉為 覺靈莊嚴報地、十方三世——蜜。

年忌唱伏願句 伏願、處生死流、驪珠獨耀云々。

○月泉修公都聞^ゲ ○德海政公都聞^シ

○芳林傳公都聞^{ゼン} 都聞職中引替二百餘貫并
田地斛常住江寄進

○建紹都寺^{ケンゼウ} 納所中引遠八百貫寄付之 ○善住禪門^シ
○幸阿禪門^{アンラ}

○晚念誦 如来大師入滅、至今日日本國永祿二己未年、已得二千五百八載

白^ス大衆^ニ如來大師入^{イツテヨリ}般涅槃^ニ至^マ今日^ニ日本國某年^ニ幾年^ニ已得^ニ二千五百載^ヲ是日^ノ既過^ニ命亦^モ隨滅^{テス}如少水魚^シ斯有^ノ何樂^{ミカ}衆等^{トウ}當^ニ勤精進^メ如救頭然^ニ但念^{ダオモツテ}無常^ヲ慎勿^{ツツシテ}放逸^{スル}伽藍^ガ土地^ト護法護人^{ゴホウニ}本寺檀那^ジ增福增壽^{ゾウフゾウジュ}為如上緣念^{ニヤン}十号^ニ平音

○二月八日 大帝誕生 丁数五枚四十五行

今時、大悲咒・金剛經・觀音經・消災咒三返、了滿散、出班燒香借香、西堂不出。
次拈唱、楞嚴咒、次宣疏。疏了維那拈消災咒三返。燎疏并經馬等。
歎仏偈 聖德昭彰、神功廣大、無求不應、有感必通

(166)

仰啓聖聰 俯垂昭鑒

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某同知事僧某等、
謹竭丹誠仰投 聖造 今月初八日 伏值

當寺護法祠山正順昭顯威德聖烈大帝誕生之辰、

虔備香燭茶果珍羞、以伸供養。謹集合山清衆 看誦、

五部大乘經、大方廣圓覺修多羅了義經、大乘金剛般若波羅蜜經、

觀音普門品、大悲圓滿無碍神咒、消^災妙吉祥神咒、今則功德周圓、諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒、化貢淨財經馬等、所集殊勳、

聊伸慶賀之誠、仰答匡扶之德仍伸、祝猷、

佛伽真身護法王西天普現大權修利菩薩、伽藍土地護法冥王掌簿判官感應使者、

祠山殿下、李王^リ二大尉^{タイイ}、丁壬^{シンシン}二使者 乙護法天童、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、松尾大明神、平野大明神、

稻荷大明神、春日大明神、巖島大明神、日吉山王、住吉大明神、若宮大権現、(17a)

諏訪上下大明神、白山妙理大権現、祇園牛頭天王、北野天満大自在天神、

熊野三所大権現、御霊八所大明神、綾戸大明神、賀州府南三所大明神、

遠州大井大明神、各宮侍衛神祇、守護伽藍合堂真宰 一專祈加護

寺門昌盛、海衆咸安、火盜消除、公私清吉、諸莊等處、軍兵無擾、

供僧糧米、運載得便、水陸無虞、早來到寺者、

右恭請 三寶請明 神靈昭鑑、謹疏

太歲 干支某年号幾 年二月初八日、五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某疏

上來文疏以具讚宣、十方三世一一蜜。疏畢消災咒、三返 疏并經馬等同療之

慶誕 看經 功德文疏 上献

當寺護法祠山正順昭顯威德聖列大帝

大日本国山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某同知事僧某 謹封

○十五日 佛涅槃疏 出班各香了疏 日本疏各不貼印 丁数三枚廿三行

歎佛傷 淨法界身、本無出沒、大悲願力、示有去來。

仰冀真慈 俯垂昭鑑 (17b)

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持第幾世遠孫比丘某、

今月十五日 恭遇本師釋迦如來大和尚大般涅槃之辰、

虔備香華灯燭茶果珍羞以伸供養。 仍集合山比丘衆同音諷誦

大佛頂萬行首楞嚴神咒所集殊勳、上酬慈蔭者 右伏以
 各赴群機、法華之囑累授記、力制後學、遺教之扶律談常、矧拈華得旨、付法正傳、
 而落葉皈根、畢吾能事、囿於化者終於盡、順世無常、寓諸幻而返諸真、是名寂滅、
 然神殊恒照於濁垢、而宝月不避於汚流、大定無方、常住恒河沙劫、圓機普應、
 示現千百億身、顧世相之難忘、臨諱日而增慕。伏願、
 闢末流之邪見、回季運之澆漓、定慧兼修、長如正法住世、天魔率化、
 皆為外護宗綱、謹疏

太歲 干支 某年号幾年二月十五日五山之上瑞龍山太平興國——住持第幾世遠孫比丘某疏

諷經 功德 文疏 回向

真如實際莊嚴無上佛果菩提

大日本國山城州五山之上瑞龍山太——住持第幾世法孫比丘某

謹封

(18a)

○同諷經罷小回向 諷經前啓請拳 南無本師釈迦牟尼佛

上來諷經功德回向 真如實際莊嚴無上佛果菩提、四恩等報、三有齊資、法界有情、同圓種智、十方三世一切諸仏——蜜。

○十八日、懺法滿散回向 古就于毘盧頂上 今就于函丈

二月六月臘月、各十八日差定双字名、西堂單寮道号、請帳并座牌如常、西堂之外各戒臘次第也。單寮亦然。維那侍者侍香、當官則如常書之。

歎仏偈 菩薩清涼月、遊於畢竟空、衆生心水淨、菩提影現中。

仰冀三宝 咸賜證知

山門今月十八日 恭遇、菩薩利生之辰、就于ビルチンギ
毘盧頂上
函丈虔備香華灯燭茶

湯之儀、以伸供養。古、三十三員
今、現前清衆修礼圓通吉祥妙懺諷演真詮今當滿散

謹集闔山清衆諷誦、大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳、回向、

十方常住、三宝果海、無量聖賢、大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、

金剛會上四大菩薩、八大金剛聖衆、祝献、

護法諸天大權真宰、三界萬靈藍十方至聖

今年歲分主執陰陽權衡造化善惡聰明、南方火德星君火部聖衆、(186)

普庵祖師會下百万火首金剛無數天龍八部、今上皇帝本命星君、大檀那支干福祿

壽星、當寺護法祠山正順昭顯威德聖烈大帝大權修利菩薩、本宮廟貌伊勢太神宮、

八幡大菩薩、賀茂下上大明神、春日大明神、巖島大明神、諏訪上下大明神、

祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、熊野三所大權現、賀州府南三所大明神、

愛宕岩四所大權現、綾戸大明神、各宮侍衛神祇、專祈、

山門鎮靜、中外咸安、火盜銷除、公私清吉、諸莊豐稔、年貢倍收、修造圓成、諸緣吉利、

次冀、現前清衆、修行有慶、進道無魔、般若智明、現前菩提、心而不退、四恩揔報、

三有遍資、法界有情、同圓種智、十方三世一切諸仏——蜜。

○三月

○四月 二日、歸雲忌 見于正月二日章。

○八日 佛誕生 此疏亦不貼印 丁数三枚廿二行

歎仏偈 一月在天影涵衆水、一佛出世各坐一華、
白毫舒而三界明、甘露洒而四生潤、

仰冀真慈 俯垂昭鑑 (19a)

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禅々寺住持第幾世遠孫比丘某、双字名
今月初八日 恭遇本師釋迦如来大和尚 降誕之辰、

虔備香華灯燭茶果珍羞以伸供養。 仍集合山比丘衆同音諷誦、

大佛頂萬行首楞嚴神咒、所集殊勳、上酬慈蔭者 右伏以

大海湛然、独聽潮音之震蕩、大虛廓尔、惟瞻景緯之橫陳、

由本大而迹彰、抑時至而機應、俾群靈咸成正覺、從五濁示現降生、

脱珍脈着垢衣、委身以徇、舍化城登宝所、携手同歸、

初度重臨、大恩莫報、伏願 扇真風於末世、揭惠日於中天、

無佛無魔、法々宣揚玉偈、非垢非淨、塵々灌沐金軀、 謹疏

太歲 干支 某年号幾年四月初八日五山之上瑞龍山太平興——住持第幾世遠孫比丘某疏

諷經 功德 文疏 回向

大日本國山城州五山之上瑞——住持第幾世遠孫比丘 某 謹封

真如實際莊嚴無上仏果菩提

次浴佛偈 三返唱了、次拳前啓請 南無本師釈迦牟尼佛 (19b)

我今灌沐諸如來、淨智莊嚴功德聚、五濁衆生令離垢、同證如來淨法身。

○次諷經罷小回向。同涅槃會。

○十三日、衆寮諷經

歎仏偈 メウザンシンジフジンシン 妙湛總持不動尊、シユウレン子シヤウシ 首楞嚴王世希有、セウゴイケテンタウシヤウ 銷我億劫顛倒想、フリスンキワハン 不歷僧祇獲法身。

仰惟三寶 咸賜證知

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺セフ 薈林守寮比丘某甲、

今月十五日 恭遇 本師釋迦如來大和尚 解結 制之辰、預於斯日、

當備供儀以伸供養。 謹集合寮清衆諷誦、

大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳、回向、真如實際莊嚴無上佛果菩提、

十方常住、三寶果海、無量聖賢、大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、祝貢、

護法諸天大權真宰、三界万靈十方至聖、

堂頭和尚本命元辰、吉凶星斗、合寮清衆建生乾象、ケンシヤウ

當山土地祠山正順昭顯威德聖烈大帝大權修利菩薩、

伽藍土地護法冥王掌簿判官感應使者、乙護法天童、(20a)

本宮廟貌伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、春日大明神、

嚴島大明神、諏訪上下大明神、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、

熊野三所大權現、賀州府南三所大明神、遠州大井大明神、綾戸大明神、

各宮侍衛神祇、修造方偶禁忌神將、先願、

皇風永扇、帝道遐昌、佛日增輝、法輪常轉、次冀、

山門鎮靜、中外咸安、火盜潛消、諸緣吉利、現前清衆、修行有慶、進道無魔、般若智以、現

前菩提、心而不退、四恩總報、三有齊資、法界有情、同圓種智、十方三世——蜜。

○十四日 啓建疏 丁數五枚、初丁十六行、次二丁各廿一行、次四丁廿行、終丁十七行、總計九十五行
歎仏偈 メウザンスンジフツンスン 妙湛總持不動尊、シウレンチンヤウシキイウ 首楞嚴王世希有、セウゴイケテンタウシヤウ 銷我億劫顛倒想、フリスンキワハシン 不歷僧祇獲法身。

佛功德海 難盡讚揚

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某謹焚香百拜恭聞、

佛恩廣大、ハリワツジン 法力宏深、天道昭々、神功浩々、願舒、

蓮眼俯鑑葵誠所伸情旨、四月十五日恭遇、ユウキキウジンシヌイ 如來聖制之辰、欲祈九旬之内、

寺門吉慶、海衆康安、預於十四日、ス 謹集合山比丘衆、就于金剛王宝殿崇建、スンケン (206)

楞嚴勝會九十日、シユ 逐日諷誦、大仏頂万行首楞嚴無上神咒、カイキイ 今當開啓所集殊勳、回向、

真如實際莊嚴無上仏果菩提、十方常住、三宝果海、無量聖賢、

大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、祝貢、方等會上護持正法大功德尊天、

大辨才尊天、大梵尊天、帝釈尊天、チン 東方持國天王、南方增長天王、シイ 西方廣目天王、

北方多聞天王、タ 摩醯首羅尊天、キ 金剛蜜迹尊天、サンシ 散指大將尊天、ジュ 菩提樹神尊天、

堅牢地神尊天、三洲護法韋馱尊天、摩利支尊天、コ 訶利帝南尊天、

鬼子母尊天、スモ 尽天輪界内無量諸天仙衆、スイ 日月兩宮天子、リヤン 南北二斗星君、

南方^火德星君、^火部聖衆、^火普庵祖師會下百万^火首金剛無數天龍八部、

今上皇帝本命星君、大檀那^{干支}福祿壽星、

當寺住持^{スジジ}合山僧衆各々本命元辰、吉^凶星斗、今年歲分主執陰陽權衡

造化賞善罰^悪一切聰明、太歲尊神十二月將三界宣奏^{スシフス}直符使者、

當寺護法祠山正順昭顯威德聖烈大帝殿下、李王^{チイデンア}二太尉^リ、丁壬^{ザンジン}二使者、

大權修利菩薩、伽藍土地護法明王、掌簿判官感應使者、乙護法天童、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、松尾大明神、平野大明神、(21a)

稻荷大明神、春日大明神、大原野大明神、大神大明神、石上大明神、大和^ヲ大明神、

廣瀨^{フイ}大明神、〔龍田大明神〕、住吉大明神、日吉山王、梅宮^{マイキウ}大明神、吉田大明神、廣田大明神、

祇園牛頭天王、北野天滿自在天神、丹生^{タンサン}大明神、貴布祢^{キフネ}大明神、巖島大明神、

諏訪上下大明神、熱田^セ大明神、熊野三所大權現、吉備大明神、白山妙理大權現、妙見大菩薩、

若宮大權現、御靈八所大明神、賀州府南三所大明神、遠州大井大明神、綾戸大明神、

遠江州初倉^ゴ莊、新所郷^{スケウ}、加賀州得橋郷^{キハラ}、笠間郷^{リカン}、幡磨州矢野莊^{ホモ}、大塩莊^{ユンサウ}、備中州三成莊^{ヒンチュン}、

但馬州池寺莊^{タンマ}、尾張州杜庄等処^{ビジャウ}各々諸大明神、大權現

尽日本國內六十餘州、諸大明神、諸大權現、各宮侍衛神祇、統三界之万靈、尽十方之至聖、

厨司監齋使者、主湯^ス火井竈神祇、修造方隅禁忌神將

山林界相守護百靈、普資聖德降大吉祥加護、寺門昌盛、海衆咸安者、右伏以、

金由淬礪^{ユウスイリ}之精、其鋒莫挫、鏡假鍊磨^{キンカレンマ}之瑩、則照不昏哉、

先聖顯抑揚之機為衆生破微細之惑、摩登慶喜妙協冥權、

世尊、文珠、特彰化軌闡一代教觀則有觀有教、

示蜜因修證而無證無修、明真見而息諸塵空華無帶。(21b)

居正定以制群動止水不波顧末裔之何知誦、遺言而自警。伏願

促恒河沙劫為一念無間長期會、十方剝土以同居咸成、正覺——謹疏

太歲 干支 某年号幾年四月十四日五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某疏

啓建楞嚴勝會 功德 文疏 上献

十方常住三宝果海聖賢護法諸天仙衆

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上瑞——住持第幾世遠孫比丘某 謹封

○諷經了小回向

上來諷經功德、回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、四恩揔報三有齊資、法界有情同圓種智、十方三世一切諸仏——蜜。

○晚土地堂念誦

切以薰風扇野炎帝司方、當法王禁足之辰、乃釋子護生之日、恭哀大衆肅

詣靈祠誦持万德洪名回向、合堂真宰所祈、加護得遂安居、

仰憑大衆念、清浄法身——。 十仏名了 回向。

上來念誦功德、祝献、當寺護法祠山正祐昌福崇仁真君、佛伽真身護法王、西天 (22a)

普現大權修利菩薩、伽藍土地護法明王、掌簿判官感應使者、乙護法天童、

本宮廟貌伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、春日大明神、嚴島大明神、

諏訪上下大明神、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、熊野三所大權現、

賀州府南三所大明神、遠州大井大明神、護伽藍神合堂真宰、所冀

神功叶贊發揮、有利之助、梵苑超隆永錫、無私之慶、再勞大衆念、十方三世——蜜

○五月十八日 善月祈禱 疏見于正月章

○六月十八日 懺法 回向見于二月章

○七月十四日 解制疏 丁数五枚 初丁十六行、中丁三枚各廿一行、末丁十六行、
總計九十五行

歎仏傷 同結制 佛功德海 難尽讃揚

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某謹焚香百拜恭聞、

佛恩廣大、法力宏深、天道昭々、神功浩々、願舒、

蓮眼俯鑑葵誠所伸情旨、本寺昨於四月十四日、謹集合山比丘衆、就于

金剛王宝殿崇建、楞嚴勝會九十日、今當七月十四日、已逐周圓キシユシユエン 諷誦、

大仏頂万行首楞嚴神咒、□化淨財經馬等、所集殊勳、回向、(226)

真如實際莊嚴無上佛果菩提、十方常住、三宝果海、無量聖賢、

大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、祝貢、方等會上護持正法大功德尊天、

大辨才尊天、大梵尊天、帝釈尊天、東方持國天王、南方增長天王、西方廣目天王、

北方多聞天王、摩醯首羅尊天、金剛密迹尊天、散脂大將尊天、菩提樹神尊天、

堅牢地神尊天、三洲護法韋駄尊天、摩利支尊天、訶利帝南尊天、鬼子母尊天、

尽天輪界内無量諸天仙衆、日月兩宮天子、南北二斗星君、南方火德星君火部聖衆、

普庵祖師會下百万^火首金剛無數天龍八部、今上皇帝本命星君、

大檀那^{支干}福祿壽星、當寺住持合山僧衆各々本命元辰、吉凶^凶星斗、

今年歲分主執陰陽權衡造化賞善罰^惡一切聰明、太歲尊神十二月將三界

宣奏^ス直符使者、當寺護法祠山正順昭顯威德聖烈大帝殿下、李王三大尉、丁壬三使者、

大權修利菩薩、伽藍土地護法明王、掌簿判官感應使者、乙護法天童、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、松尾大明神、平野大明神、

稻荷大明神、春日大明神、大原野大明神、大神大明神、石上大明神、大和大明神、廣瀨大明神、

龍田大明神、住吉大明神、日吉山王、梅宮^{キウ}大明神、吉田大明神、廣田大明神、祇園牛頭天王、(23a)

北野天滿大自在天神、丹生大明神、貴布祢大明神、巖島大明神、諏訪上下大明神、

熱田大明神、熊野三所大權現、吉備大明神、白山妙理大權現、妙見大菩薩、

若宮大權現、御靈八所大明神、賀州府南三所大明神、遠州大井大明神、綾戸大明神、

遠江州初倉莊、新所郷、加賀州得橋郷、笠間郷、播磨州矢野莊、大塩莊、備中州三成莊、

但馬州池寺莊、尾張州杜莊等、処各々諸大明神大權現

尽日本國內六十餘州、諸大明神、諸大權現、各宮侍衛神祇、統三界之万靈、尽十方之至聖、

厨司監齋使者、主湯^火井竈神祇、修造方隅禁忌神將

山林界相守護百靈、普資^ス聖德降^{ラウ}大吉祥加護、寺門昌盛、海衆咸安者、右伏以、

瞻^ク此林園苑^ス尔祇洹精舍、現前海衆儼然一會靈山、

括大千於微塵、融三際於當念、属休夏之自恣、無犯無持、

スンバンシヤウイカウサン
 捻万象以交参、就凡就聖、人々妙覺、刹々毘盧、示現千百億身、
 デウエウジシイ、イシイシシヒシ、イキウバウ、ジクンザウクン、ジアクンクニン、コシヤウイレノウシ
 超越五十七位、以指喻指之非指々亦具亡、似空藏空而合空々寧可餉為憐幼穉、
 デンヤソニムンジン、イカウイジュライアンキシブシヤウ、フゲン
 特獎愚蒙遵、遺教以受持賴安居之無障——伏願、
 サモジヨジンキスシデンラウモン、イウハンキンテンジ
 奢摩寂靜具足諸塵勞門大用繁興等入、上首楞嚴定——謹疏、(23b)

太歲 支干 某年号幾年七月十四日五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某疏

上來文疏以具讚宣、十方三世々々蜜 疏畢消災咒三返、啓建滿散疏經馬等燎之

滿散 楞嚴勝會 功德 文疏 上献

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上瑞龍山——住持比丘某 謹封

十方常住三宝果海聖賢護法諸天仙衆

○晚土地堂念誦 解夏

セイキンフンセンヤハチイスハウ、タウカウウカイシシシン
 切以金風扇野白帝司方、當覺皇解制之辰、是法歲周圍之日、九旬無難一衆咸
 アン、ズヂバンテウミン、ニヤウタアダウシンサイ
 安、誦持万德洪名、仰答合堂真宰、仰憑大衆念、十号 靈音 回向同結制。

○同十五日 施食滿散疏 丁数五枚、捻計四十六行

歎仏偈 佛身充滿於法界、普現一切群生前、隨緣赴感靡不周、而常處此菩提座

佛功德海 難盡讚揚

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某与合山比丘衆等、
 所伸情旨、切見七月十五日、乃納子自恣之辰、目連救母之日、
 ミンシユバンフズ、ト、ハウタシンエンズ、インズ
 冥修梵福自利々他、報答親恩資崇檀信——因茲、(24a)

現前清衆各々發無緣慈、專利濟志預乃、看誦。

大方廣佛華嚴經クワツンキン幾部、首楞嚴經センエン幾部、法華經ハクウ幾部、梵網經バンマウ、圓覺經、

金剛經キンガウ幾卷、阿彌陀經アミト幾卷、觀音普門品カンオンフモン幾卷、孟蘭盆經バンハク幾卷、首楞嚴神咒センエン幾返、

大悲神咒ダイイ幾返、尊勝陀羅尼ズンセン、八句陀羅尼ハク、寶篋印陀羅尼ハクケイン、光明真言、

隨求陀羅尼ジ、阿彌陀大咒アミト、父母成佛經フメウ、一字金輪咒イチジンリン、阿彌陀名号、

謹於初夜就于門首諷經、大佛頂萬行楞嚴神咒フシ、普施、

清淨廣大無遮斛食シヤクジイ、宣演密言稱揚センエン、聖号惟願乘ジン、

三宝力懺多生之惡業アチ、滌累劫之冤愆ヂリケンエンケン悉脫苦輪同歸上、覺道、伏願、

山林土地皆成香飯ジンキヤウハン、食者咸證真常ジシヤアンシン。

江河池海尽變醍醐カウラシヘンダイウ、飲者俱霑法味インシヤキセンハミ、履八正菩提之路リハシン、登三空解脫之門クンカイトシ、

天上人間同為法侶ハリ、不盡功勳クンビン、四恩徧報、三有齊資、法界有情同圓種智者、

右伏請上ツ、三宝證明、方靈炳鑑ヒンカン——謹疏

太歲 支干 年号幾年七月十五日五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某等疏

上來文疏以具讚宣、十方三世一切——蜜。(24b)

黑紙上以午粉書之

孟蘭盆會普施無遮解食功德文疏上獻

十方常住三宝果海聖賢恒沙諸鬼神等衆

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上——住持比丘某合山衆等 謹封

○就于山門頭設供具茶菓珍羞等排立牌位

冥府地獄幽靈等衆

當寺行力前亡後亡之靈

本寺僧衆七世逝靈

十方檀那亡沒靈儀

前後戰鬪傷亡無主孤魂

河沙餓鬼一切幽靈

傍生品類等衆

愚按勸善書十卷云、宋表可久嘗教其弟昶、以宝樓閣咒、昶不甚信。然旦起必誦三十遍、初未知其功效也。紹興三年夏、隸業府学、方大軍之後、城邑荒殘、直齋卒住成每番宿室中、必夢魘。達旦方已無一夕安寢。成殊以為苦、或詢之。答曰、被人髻髮欲加以垂。故呼叫拒之。昶令徒於已房。犯不止、同舍生惡其妨睡、共議遺逐。昶試書咒語貼於柱。此夜晏然、由是一齋妖祟絕跡。其咒語、即所謂、唵摩呢達哩吽撥吒八字、但世俗、所傳訛謬、寫皆從口而、亦不得其音、要當取大藏中善本元初譯師言為證自有大功。昶因悔昔慢。始驀奉之、秘其事。

佛 法

唵摩呢達哩吽撥吒

若人欲了知

三世一切佛

應觀法界性

一切唯心造

(25a)

○大施食文 七月初一日左右書之、貼諸堂柱。

若人欲了知、三世一切佛、應觀法界性、一切唯心造三返。南無十方佛、

南無十方法、南無十方僧、南無本師釋迦牟尼佛、南無大慈大悲救苦

觀世音菩薩、南無啓教阿難尊者 三返。南無薩婆怛多藥多縛盧枳帝唵三摩

羅三摩羅吽。七返。南無蘇嚕婆耶怛多藥多耶怛姪佉唵蘇嚕蘇嚕婆耶蘇嚕婆

耶蘇嚕婆婆訶。七返。南無三滿多波_{沒イ}馱南梵。廿一返。南無寶勝如來、南無多寶如來。

南無妙色身如來。南無廣博身如來。南無離怖畏如來。南無甘露王如

來。南無阿彌陀如來三返。南無阿彌陀婆耶多陀迦佉耶多你夜他阿彌唎都

婆毘阿彌唎多悉耽婆毘阿彌唎多毘迦蘭帝阿彌唎多毘迦蘭多伽彌膩伽

伽那枳多迦隸婆婆訶。三返。神咒加持淨飲食、普施河沙衆鬼神、願皆飽滿

捨慳心、悉脫幽冥生善道、歸依三宝發菩提、究竟得成無上覺、功德

無辺盡未來、一切衆生同法食。汝等鬼神衆、我今施汝供、此食遍十

方、一切鬼神供、以此修行衆善根、報答父母劬勞德、存者福樂壽無

窮、亡者離苦生安養。四恩三有諸含識、三途八難苦衆生、俱蒙悔過 (256)

洗瑕玼。盡出輪回生淨土。願以此功德、普及於一切、我等與衆生。

皆共成仏道。十方三世一切佛、諸尊菩薩摩訶薩、摩訶般若波羅蜜。

橫十五行、豎三十字、句改各闕一字。

○八月十六日 後醍醐天皇御忌

七月晦日、都寺具威儀、詣方丈請拈香
自初七日至十四日、就于南禪院看經

慕莊謂、今時就于佛殿、自初一日至十四日、毎日早晨後、半齋前、看經也。故維
無半齋、于晚必日中、雖然初一日必於上間看經。

○逐日看經回向 上書看經回向 前後拏大悲咒。

仰惟三寶 伏請證明 右 上來觀閱毘盧法王大藏經文大悲圓――

上来看誦大乘金剛般若波羅蜜經、大悲圓滿無碍神咒、所集功德、奉為

龜山覺皇
後醍醐天皇 聖廟神儀莊嚴仙駕、十方三世一切――蜜。

○旧回向 初一日就于南禪院看經。開啓。先大悲咒、回向、次看經。

仰惟三寶 伏請證明

山門九月十五日、伏值、先功德主龜山法皇遠諱之辰、預於初一日就于

南禪院、謹集合山比丘衆、逐日輪番披閱毘盧法王大藏經文半月日

今當開啓諷誦、大悲圓滿無碍神咒、所集功德、奉為 (26a)

龜山聖廟神儀資嚴仙駕、十方三世――蜜。
次僧衆看經
次日以下每日粥罷大悲咒一遍、無回向便看經

○宿忌 上書、後醍醐、宿忌

歎仏傷 シン 妙性圓明、離諸名相、ミシシヤウ 靈光獨耀、ヅヨウ 迴脱根塵。
イソトゲンジン

仰啓神儀、俯垂昭鑒

山門今月 十五日
十六日 伏值、先功德主龜山太上覺皇
後醍醐天皇 遠諱之辰、預於斯晚

虔備香華灯燭茶湯之儀以伸供養。謹集合山僧衆諷誦、

大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳、奉為 聖廟神儀資嚴仙駕、伏願

在天之靈昭々、不昧益固皇図、護法之心赫々、如生永隆梵刹、十方三世――蜜。

○至日献粥諷經小回向

上來諷誦、大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勲、奉為

龜山覺皇
後醍醐天皇

聖廟神儀莊嚴仙駕、十方三世一一蜜。

○同半齋 歎仏偈与宿忌同、上書、後醍醐、遠諱。

仰啓神儀、俯垂昭鑑

山門今月十五日、伏値、

先功德主龜山太上覺皇・
後醍醐天皇

遠諱之辰、預於初一日就于 (26b)

南禪院、崇建追修道場、謹集合山僧衆、

シユジリンバンカンエ
逐日輪番看閱

毘盧法寶大藏經文、大乘金剛般若波羅蜜經、大悲圓滿無碍神咒

今當散會、虔備香華灯燭茶果珍羞以伸供養。

堂頭和尚、

チンキヤウ

拈香讚揚佛事、同音諷誦、

大佛頂萬行首楞嚴神咒、所集殊勲、奉為、聖廟神儀資嚴仙

駕、伏願 在天之靈昭々、不昧益固皇図、護法之心赫々、如

生永隆梵刹、十方三世一切一一蜜。

○九月十五日 龜山聖皇御忌

回向見于後醍醐天皇御忌、八月晦日詣方丈
請拈香自初一日至十三日、就于南禪院看經

○十八日 善月祈禱

○十月五日 達磨忌 宿忌

歎仏偈 淨法界身、本無出沒、大悲願力、示有去來。

仰冀真慈 俯垂昭鑒

山門今月初五日 伏値、初祖菩提達磨圓覺大師大和尚示寂之辰、預於斯晚、

虔備香華灯燭茶湯之儀以伸供養。 仍集合山比丘衆 諷誦 (27a)

大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳、上酬慈蔭、 伏願

群機有賴播揚少室之家風、妙智無窮成就大乘之根器、十方三世——蜜。

○至日献粥諷經小回向

上來諷誦、大仏頂万行首楞嚴神咒所集殊勳、奉為

初祖菩提達磨圓覺大師大和尚、上酬慈蔭、 十方三世——蜜。

○同半齋

点供了出班各香大衆同展三拜、兩序歸位、維那宣疏
二祖三仏並日本様疏

歎仏偈 淨法界身、本無出沒、大悲願力、示有去來。

仰冀真慈 俯垂昭鑒

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興国南禪々寺住持第幾世法孫比丘某

今月初五日 伏値、初祖菩提達磨圓覺大師大和尚示寂之辰、

虔備香華灯燭茶果珍羞以伸供養。 仍集合山比丘衆同音諷誦

大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳、上酬慈蔭者、 右伏以

大哉正傳、紹覺皇之宗裔、廓然無聖、破義學之膏肓、

百川致海、迴絕異流、杲日麗天、鑒無側影。(27b)

指人心而成佛、成佛同心、契妙道以忘言、忘言見道、

有大功於世教、宜廣振於宗風、現濁世優曇華、實為鼻祖、

取^テ神州大乘器、尽^ク入^ル穀^{ヤコ}中^{チニ}、適^ク逢^テ慮^{エイ}履^リ之^ノ辰^ニ、爰^{コニ}效^{ナラウ}采^セ繁^シ之^ノ薦^ニ、
伏願、信衣表^シ仏祖之重^ノ、力任^{タテ}千鈞^ニ、一花開^ケ天地之春^ノ、芳聯^{ラン}万世^ニ、謹疏
太歲 干支 某年号^幾年十月初五日五山之上瑞龍山——住持第^幾世法孫比丘某疏

初祖菩提達磨圓覺大師大和尚

大日本國山城州五山之上瑞龍山太興國南禪々寺住持第^幾世法孫比丘^某

謹封

此疏無印

○次諷經畢小回向

上來諷經功德奉為、初祖菩提達磨圓覺大師大和尚、上酬慈蔭、十方三世——蜜

○十一月 冬節 念誦、祝聖、兩開山諷經 見于正月章

○念誦 兩序出班借香

切^{セイ}以^シ時^{リン}臨^ア垂^シ歲^{イン}節^{カシ}屆^イ書^ウ雲^イ當^イ一^イ陽^{ヤウ}來^ウ復^{ライ}之^フ辰^{シン}、乃^{ナイ}萬^{バン}彙^キ發^ハ生^{サン}之^シ始^ジ、恭^{キウ}哀^ヒ大^{ヨウ}衆^ウ肅^ス詣^ニ靈

祠誦持万德洪名、回向合堂真宰、仰憑大衆念、清淨法身—— 十号以下同結制 (28a)

○十二月八日 佛成道

歎^サ仏^ノ偈^ヘ 正覺^{ミテ}山^ヲ前^ヲ、觀^ミ明^ミ星^ヲ而^ル悟^ル道^ヲ、大^カ千^キ界^ケ內^ニ、揭^カ惠^ケ日^ニ以^テ流^ナ輝^ス、

仰冀真慈 俯垂昭鑒

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持第^幾世遠孫比丘^某、

今月初八日 恭遇 本師釋迦如来大和尚 成道之辰、

虔備香華灯燭茶果珍羞以伸供養。 仍集合山比丘衆同音諷誦、

大仏頂萬行首楞嚴神咒、所集殊勳、上酬慈蔭者 右伏以

無量劫來成佛、豈假進修、衆生日用不知、示以先覺、

覺自覺他而成覺道、世出世間而稱世尊、闡一代之化儀、遵先佛之遺軌。

坐菩提樹、魔宮隱而無光、現優鉢華、法輪熾然常轉、故

始喻初日之先照、而未示拈花之正傳、圓極真常、則空有俱亡、聖凡夢幻、

挺埴万化則、古今一瞬天地毫芒、顧末裔之何知、誦遺言而有惕、伏願

色空明暗、咸宣微妙法音、蠢動含靈、共證知惠德相、謹疏

太歲 支干某年号幾 年十二月初八日五山之上瑞龍山——住持第幾世遠孫比丘某疏 (285)

諷經 功德 文疏 回向

此疏不貼印

真如實際莊嚴無上仏果菩提

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持第幾世遠孫比丘某 謹封

○次諷經畢小回向。 与涅槃會同。 疏畢半齋前啓請、南無本師釈迦牟尼佛

○十二日、開山忌、宿忌、献粥、半齋、回向見正月二日章。

○除夜、土地堂念誦、兩序出班、借香。

切以化工密運、歲曆云周、咸忻四序之安、將啓三陽之慶、恭哀大衆肅詣靈祠

誦持万德洪名回向合堂真宰、仰憑大衆念、十号、以下同結制。

○早晨、毎日三時諷經回向、畢兩班大衆人々低頭問訊而散、不必揖上下肩。

仰惟三宝 咸賜證知

上來諷誦大悲圓滿無碍神咒、消^{五逆}災妙吉祥神咒、所集功德、回向、

真如實際莊嚴無上仏果菩提 祝献、護法諸天大權真宰、三界万靈、十方至聖、
今年歲分主執陰陽權衡造化善^惡聰明、南方^火德星君^火部聖衆、

大檀那所属本命元辰吉^凶星斗、守護伽藍合堂真宰、乙護法天童、(29a)

尽日本國內大小福德一切靈神、修造方隅禁忌神將。先願 大檀那增福增壽。次冀

營造殿堂永無魔事諸莊等處、年貢運来、賀州米船水陸無難、順風揚帆、早得^{インザウデンタウインブモズシヤウテンシ}到岸、山門鎮靜、中外咸安、^{子ンクインライ}潛消、諸緣吉利、十方三世一切——蜜。^{ヲシウミイセンシルブナン}
^{ジンブンヤウハン}早得^{サウテ}

到岸、山門鎮靜、中外咸安、^火盜潛消、諸緣吉利、十方三世一切——蜜。

○日中 仰惟三宝 咸賜證知

上來看誦、大乘金剛般若波羅蜜經、^{三逆}仏頂尊勝陀羅尼、^{七逆}消^災妙吉祥神咒、所集

功德回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、祝献、

護法諸天大權真宰、三界万靈十方至聖、今年歲分主執陰陽權衡造化善^惡聰明、

南方^火德星君^火部聖衆、大檀那所属本命元辰吉^凶星斗、

當山土地守護伽藍合堂真宰、乙護法天童、尽日本國內大小福德一切靈神修造

方偶禁忌神將、先願、皇風永扇、帝道遐昌、佛日增輝、法輪常轉、^{兵革}永息、

國界安寧、大檀那增福增壽、次冀、

營造殿堂永無魔事諸莊等處、年貢運来、賀州米船水陸無難、順風揚帆、早得到岸、

山門鎮靜、海衆咸安、^火盜潛消、諸緣吉利、十方三世一切諸仏々——蜜。(29b)

○前住忌 歎仏偈 宝明空海——借香并列拜如常

仰冀真慈 俯垂昭鑒

山門今月^{某日} 伏値、前往當山某^{國師大和尚 和尚大禪師} 遠忌之辰、

虔備香華茶^湯之儀以伸供養。^{無供具則除 茶菓可作茶湯} 謹集合山比丘衆、諷誦

大悲圓滿無碍神咒、所集殊勲、奉為、真慈增崇品位、 伏願

慧炬重輝耀祖室光明之種、靈根再榮回少林花木之春、十方三世一一蜜。

或文、曇華再現、重開覺苑之春、慧日長明、永燭昏衢之夜。

○大雲菴、上生院、慈聖院 渡諷經回向、上書各塔頭院号而已。

歎佛偈。宝明空海、湛死生游汎之波、大寂定門、融今古去來之相

仰冀真慈 俯垂昭鑒

今月^{二十五日 晦日 初九日} 伏値前往當山^{一山國師大和尚 夢窓正覺心宗普濟玄獻佛統大圓國師大和尚 龍湫和尚大禪師} 示寂之辰

虔備香華灯燭茶果珍羞、以伸供養。謹集合山比丘衆、諷誦

大佛頂一一咒、所集殊勲、奉為、真慈增崇品位、 伏願 曇華再現、一一。(30a)

○前往示寂之後諷經回向 或就于法堂、或赴塔頭。

歎佛偈如前。 仰冀真慈 俯垂昭鑒

山門今月^{某日} 伏値前往當山某^{國師大和尚 和尚大禪師} 遷化之辰

今日追備香華灯燭茶果珍羞、以伸供養。謹集合山比丘衆、諷誦

大仏頂万一一咒、所集殊勲、奉為、真慈增崇品位、 伏願 慧炬重輝、一一。

○前住在世祖堂入牌

歎仏偈如常。本二無 仰冀真慈 俯垂昭鑑

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禅々寺某院寓住比丘某等、
涓取キ今月吉日就于本寺棄捨淨財預為

前往當山 某名 和尚大禪師、入壽牌於祖堂、

虔備香華灯燭茶果珍羞、以伸供養。拜請堂頭和尚讚揚佛事。

謹集合山比丘衆諷誦、大仏頂万行首楞嚴神咒、所集功德回向

真如實際莊嚴無上仏果菩提 專祈、

某院 東堂和尚大禪師、力任千均、久保趙州之甲子、芳聯五葉、恢興少室之風(306)
道号 規、四恩總報、三有齊資、法界群生、同圓種智者、十方三世一一蜜。

○同前往遷化忌後入牌

歎仏偈如常 仰冀真慈 俯垂昭鑑

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禅々寺 某院 比丘 某名 等、

今月某日 伏値、前往當山 某名 和尚大禪師 忌之辰、就于祖堂 入牌、

拜請堂頭和尚、拈牌讚揚仏事之次、虔備香華灯燭茶果珍羞、以伸供養。

謹集合山比丘衆諷誦、大佛頂万一一咒、所集殊勳、奉為、真慈增崇品位、伏願

慧炬明永燭昏衢之夜、靈根再茂重敷覺苑之春、十方三世一切一一蜜。

○尊宿遠忌引上回向

歎仏偈如常 仰冀真慈 俯垂昭鑑

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺某院守塔比丘某名等、

當來次歲
來歲 甲子 上者兩
樣也

月 日 伏值、

前住當山某号

國師和尚、七周忌、一十二回忌、
和尚大禪、師世三白忌、一百年遠忌、

之辰、預於年号幾年月今日、就于本院、
本寺

虔備香華灯燭茶果珍羞以伸供養。(31a)

拜請某院
某号

堂頭和尚、拈香讚揚仏事、拜請某院堂頭和尚大禪師陞座說法之次、

謹集現前比丘衆同音諷誦、大仏頂万首楞嚴神咒、所集殊勲、奉為、

真慈増崇品位、伏願 慧炬明永燭一一春、十方三世一一蜜。

伏願句或云、祖庭不夜、常懸惠日之輝、覺苑長香、復現曇華之瑞。

○入寺翌日 就于南禪院拈香半斎 此日拈香自公界都寺不請之

仰冀神儀 俯垂昭鑑

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持傳法沙門某名、

視篆翌日、恭詣、南禪院拈香讚揚佛事之次、

謹集闔山僧衆同音諷誦、大仏頂万一一咒、所集殊勲、奉為、

先功德主龜山太上覺皇聖廟神祇莊嚴仙駕、十方三世一切諸仏一一蜜。

○嗣法忌 上書亦同

歎佛偈。宝明空海、一一 仰冀真慈 俯垂昭鑒

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘 某、

消取今月今日 或曰、今月消取
吉日良辰 本寺虔備香華灯燭茶果珍羞、以伸供養。(31b)

謹集合山比丘衆諷誦、大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勲、奉為、

前住當山 某号 和尚大禪師、真慈增崇品位、伏願

曇華再現、重開覺苑之春、惠日長明、永燭昏衢之夜。十方三世——蜜。

○御誕生疏

歎仏偈 不可思議大劫海、供養一切諸如来、等以功德諸群生、是故湛然最無比。

佛功德海 難尽讚揚

娑婆世界南瞻部州大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興国南禅々寺住持比丘某、

所伸情旨 上達 聖聰 山門今月幾日 伏値、

大檀那 某官位氏名 誕生之辰、謹集合山清衆、看閱大般若波羅蜜多經、

觀音普門品、大悲圓滿無碍神咒、消災妙吉祥神咒、今當滿散、諷誦、

大佛頂万行首楞嚴神咒、化貢淨財經馬等、所集殊勲、回向、

真如實際莊嚴無上仏果菩提、十方常住、三宝果海、無量聖賢、

大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、方等會上護持正法大功德尊天、

大辨才尊天、大梵尊天、帝釈尊天、東方持國天王、南方增長天王、(32a)

西方廣目天王、北方多聞天王、摩醯首羅尊天、金剛密迹尊天、散脂大将尊天、

菩提樹神尊天、堅牢地神尊天、韋馱尊天、摩利支尊天、訶利帝南尊天、

鬼子母尊天、日月兩宮天子、南北二斗星君、般若會上十六善神、

護法諸天大權真宰、三界万靈十方至聖、今年歲分主執陰陽權衡造化善惡聰明、

南方^火德星君^火部聖衆、大檀那^{干支}本命元辰大運小運正照傍臨吉^凶星斗、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、松尾大明神、平野大明神、
稻荷大明神、春日大明神、巖嶋大明神、日吉山王、住吉大明神、若宮大權現、
諏訪上下大明神、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、熊野三所大權現、

御靈八所大明神、綾戸大明神、尽日本國內大小福德一切靈神各宮侍衛神祇、
尽祈禱會上無辺靈貺憑茲善利普用回巖。專以保祐、大檀那身躬康

健、福壽延長、長為仏法金湯永祚^ス。皇家堡障在仏光中無^災無難。所祈、

山門鎮靜、忠外咸安、檀信帰崇、諸縁吉利、四恩三有、均被善功、法界含情、同圓種智者、
右伏請、三宝證明、諸天洞鑒、謹疏

太歳^{干支} 某年号^幾年^幾月五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某疏(32b)

上來文疏以具讃宣、十方三世一一蜜 疏畢消^災咒三返、疏^并經馬等同燎之

慶讃誕辰看誦經咒功德文疏上献

大檀那^{干支} 本命元辰福祿壽星

十方常住三宝果海無量聖賢

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上瑞龍山太平一一住持比丘某 謹封

○同每月御誕生回向 歎仏偈 不可思議大劫海一一

仰惟三寶 咸賜證知

山門今月^幾日 伏值、大檀那征夷大將軍 官位氏諱 誕生之辰、

謹集合山清衆、看誦、大乘金剛般若波羅蜜多經、觀音普門品、大悲圓滿無碍

神咒、消^災妙吉祥神咒、今當滿散、諷誦、

大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勳、回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、
十方常住、三寶果海、無量聖賢、大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、祝獻、

護法諸天大權真宰、三界万靈十方至聖、今年歲分主執陰陽權衡造化善^惡聰明、

南方^火德星君^火部聖衆、大檀那^{干支}本命元辰大運小運正照傍臨吉^凶星斗、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、松尾大明神、平野大明神、(338)

稻荷大明神、春日大明神、嚴島大明神、日吉山王、住吉大明神、若宮大權現、
諏訪上下大明神、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、熊野三所大權現、

御靈八所大明神、綾戸大明神、尽日本國內大小福德一切靈神、各宮侍衛神祇、
尽祈禱會上無辺靈貺憑茲善利普用回嚴。專以保祐、

大檀那身宮康健、福壽延長、長為仏法金湯永祚^ス。

皇家堡障在仏光中無^災無難。所祈、山門鎮靜、忠外咸安、檀信歸崇、諸縁吉利、
四恩三有、均被善功、法界含情、同圓種智者、十方三世一切——蜜

○毘盧頂上 今函丈 懺法陳白 三季并函丈修正

水澄秋月現、懇禱福田生、惟有佛菩提、是真歸仗處。

沙門、謹焚、戒香・定香・恵香・解脫香・解脫知見香、光明雲臺、周徧法界、供養
十方無量佛、供養十方無量法、供養十方無量僧、見聞普熏證常樂、法界衆生、
亦如是供養、現座水月道場、大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、我聞菩薩、楞嚴

會上初説圓通逢古觀音得、蒙授記、彼仏令入三摩地、先須熏習聞思修、初於

聞中入流時、動靜二相俱不起、如是漸增聞所尽、々聞不住覺心空、々覺極圓空亦空、(33b)

三空心滅寂滅現、上契如來慈願力、下合群生悲仰心、三十二應徧十方、十四無畏救苦

難、又獲圓通無上道、四不思議無作心、或現衆多妙形容、廣説無辺秘密咒、或慈

或威或定惠、一一救世安寧、由我觀聽悉圓明、故我觀音徧一切、於是文殊奉

慈旨料揀二十五圓通、此方觀教在音聞、良哉觀音為最上是故、我今頭面禮、

至心頂礼、海岸孤絶處、補陀洛迦山、紫竹梅檀、沈水香刹、心同法界、誓等虚空、陀

羅尼宮、琉璃苑内、面安三目、頂戴弥陀、唵婆盧枳帝什囉囉耶、大悲大願大聖大慈、

白衣觀自在菩薩、摩訶薩埵、以此妙香普伸供養、常寂光土、清淨法身毘盧

遮那仏、圓滿報身慮舍那仏、千百億化身釈迦牟尼仏、當來下生弥勒尊仏、十方三

世一切諸仏、方等會上甚深法藏、一切尊經、大聖文殊師利菩薩、大乘普賢菩薩、大勢

至菩薩、地藏願王菩薩、十方三世一切菩薩、摩訶薩埵、舍利弗等、聲聞緣覺、五

百大阿羅漢尊者、西天東土、歴代祖師、普庵祖師、會下八万_火首金剛無数天龍八

部、金剛會上、四大菩薩、八大金剛、護法十八尊天、尽虚空徧法界、一切神衆、三界万靈

十方至聖、今年歲分主執陰陽權衡造化善_惡聰明、南方_火德星君_火部聖衆、

今上皇帝本命元辰星君、大檀那_{支千}本命元辰、吉凶_凶星斗、堂頭和尚本命元辰、(34a)

合山僧衆建生乾象、日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、春日

大明神、巖島大明神、諏訪上下大明神、日吉山王、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、

熊野三所大權現、愛宕岩四所大權現、賀州府南三所大明神、綾戸大明神、

各宮侍衛神祇、尽日本國內六十餘州、大小福德一切靈神、修造方隅禁忌神將、

尽祈禱會上無辺賢聖、爰有娑婆世界、南瞻部洲大日本國山城州五山之上瑞龍

山太平興國南禪々寺住持比丘某名。○所伸丹悃上達聖聰、茲者伏值、三陽交泰之辰、

四序循環之初、祈合山無虞、伸一年而均慶、非憑諸聖加被、何以一天保安、由是、就于

函丈謹率梵侶、嚴淨道場、剋期五日、每日一時、依教熏修、圓通吉祥妙懺諷演、真

詮、所集殊勳回向、○山門今月十八日、伏值、菩薩利生之辰、就于函丈現前清衆修礼

圓通吉祥妙懺諷演真詮所集殊勳回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、祝猷、

當山土地守護伽藍合堂真宰、先願、革故鼎新以往、修正用此語皇風永扇、帝道遐昌、

佛日增輝、法輪常轉、次冀、寺門昌盛、火盜消除、海衆咸安、諸緣吉慶、此大

道場、永無魔事、四恩總報、三有齊資、法界有情、同圓種智。

小回向 (34b)

上來修礼、圓通吉祥妙懺諷演真詮、所集殊勳、回向真如實際、常住三宝、果海

聖賢、大慈悲父廣大靈威觀世音菩薩、祝貢、護法諸天大權真宰、日月兩宮、

南北二斗、南方火德星君、今年歲分主執聰明、當山土地、祠山大帝合殿聖賢、

日本國內諸大權現、諸大明神、三界有禱靈祇、十方滿空真宰、專祈加護、

大檀那身宮安泰、福壽延長、家道興隆、子孫昌盛永祚、皇家保障 □為仏

法金湯、惟吉惟康、無災無難、堂頭和尚道體堅固、法臘增長、無諸難緣、獲大

善利、次冀、寺門昌盛、火盜消除、海衆咸安、諸縁吉利、諸莊等處、年貢運来、四恩総報、三有斉資、法界有情、同圓種智。

同滿散回向、見于二月十八日章。

○每月十七日清水寺御祈禱懺法陳白

菩薩清涼月、遊於畢竟空、衆生心水淨、菩提影現中、

大日本國山城州京師居住奉三宝弟子

某名

至誠、謹焚海岸妙香、

光明雲臺周徧法界、供養十方無量仏、供養十方無量法、供養十方無量僧、

見聞普熏、證常樂、法界衆生亦如是、供養宴座水月道場、大慈悲父廣大(35a)

靈感觀世音菩薩、稽首百拜、恭聞、佛恩廣大、法力宏深、天道昭々、神功浩々、

願舒、蓮眼俯鑑葵誠、所伸情旨上達、聖聰、每月十七日就于、本寺謹命三十三

員僧衆、熏修妙懺、諷誦經咒、所集殊勳、聊伸慶懺之誠、仰頼キヤウフ匡扶之力回向、

真如實際莊嚴無上仏果菩提、十方常住三宝果海聖賢、祝献、

護法諸天大權真宰、三界万靈十方至聖、日月兩宮天子、南北二斗星君、

大檀那

支干

本命元辰、大運小運傍臨正照一切吉凶乾象、今年歲分主執陰陽權衡

造化賞善罰惡一切神祇、太歳尊神十二月将年月日時宣奏三界真符使者、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂下上大明神、松尾大明神、平野大明神、

稻荷大明神、春日大明神、日吉山王、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、

今宮大明神、御靈八所大明神、地主大權現、尽日本國內大小福德一切□明、

普資聖德獲大吉祥、一切願望皆悉圓成、所冀、大檀那身宮康健、福壽延長、
災障不侵、吉祥駢集、永祚、皇家蕃幹、長為弘法金湯、万善咸臻、千妖遠遁ヨウツン、國家
安靖、天下太平、所求如意、上報四恩、下資三有、法界含情、被蒙利益者。

小回向 (35b)

上來現前清衆、各運至誠、五骸投地、依教熏修、圓通吉祥、妙懺諷演、經呪、所集殊
勳回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、二
十八部大仙衆、十六大阿羅漢、各々常住眷屬、祝貢、

護法諸天大權真宰、日月兩宮天子、南北二斗星君、今年歲分主執陰陽權衡
造化一切聰明、大檀那干支本命元辰、三界有禱靈祇、十方滿空真宰、

尽祈禱會上無辺靈呪、伏茲功勳普伸回巖、專祈、家門吉利、災障不生、

福壽延鴻ウツ、吉祥如意、所冀、無明永滅、真智現前、信力弥堅、願望皆是、變
苦海而、為福海、回業根而、種善根、處々建立法幢、生々紹隆仏種、直シ導間、同成
正覺、齊資恩有、普及見聞、法界衆生、同圓種智。

○清水寺懺法滿散回向

歎佛 菩薩清涼月、遊於畢竟空、衆生心水淨、菩提影現中。

仰冀三宝 咸賜印知

大日本國山城州京師居住 義某 每月十七日 就于

本寺謹命二十三員清衆修礼圓通吉祥妙懺諷演、觀音普門品、大悲圓滿 (36a)

無碍神咒、就座滿散同音諷誦、大仏頂万行首楞嚴神咒、消^災妙吉祥神咒、

所集殊勳回向、大慈大悲千手千眼觀世音菩薩、二十八部大仙衆、

今年歲分主執陰陽權衡造化賞善罰^惡一切聰明、

今上皇帝本命建生星君、大檀那^{支千}本命元辰、吉凶照臨星斗、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩等大小福德、一切明靈、專祈、大檀那身宮康

健、命運亨通、五福齊臻、八難同遣、子孫永盛、家眷平安、長為仏法、金湯永作、

皇家蕃幹、兵戈不起、國土昇平、五穀豐登、万民和樂、吉祥駢集、所求如意、

四恩總報、三有遍資、法界有情、同圓種智。十方三世一切^一蜜。

○臨時祈禱回向

歎仏偈

不可思議大^一

仰惟三寶 咸賜證知

大日本國山城州^一南禅々寺住持比丘某 山門涓取今月吉日良辰

謹集現前清衆、看閱、大般若^一、觀音普門品、大悲圓^一、消^災妙^一、

今當滿散諷誦、大仏頂^一呪、化貢淨財經馬等、所集殊勳回向、真如實際

莊嚴無上仏果菩提、十方常住三宝果海無量聖賢、大慈悲父廣^一菩薩、(36b)

金剛會上、四大菩薩、八大金剛、無量聖賢、祝獻、護法諸天^一至聖、今年歲^一

賞善罰^災一切聰明、南方^火德^一、普庵祖^一八部、今上皇帝本命星君、

大檀那^{支千}福祿壽星、當寺護法祠山正順^一、伽藍^一、乙護法天童、

日本國伊^一、八幡^一、賀茂^一、春日^一、嚴島^一、諏訪^一、祇園^一、北野^一、熊^口^一、

賀州府一、綾戸一、尽日本國內大小福德一切靈神、各宮侍衛神祇、厨司一、神將、先願、皇風永扇、帝道遐昌、仏日增輝、法輪常轉、風調雨順、國泰民安、天下泰平、万民和樂、專祈、大檀那身宮康健、福壽延長、次翼、山門鎮靜、海衆咸安、火盜潜消、諸縁吉利、四恩総報、三有齊資、法界群生、同圓種智。十方三世一一蜜。

大鑑、小規、凡祈禱、啓建滿散、有供具者、須於早晨及日中可也。此二時仏天受供也。若急祈禱、晚間、茶湯而已、歷代忌隨宜。藏經中所載、早晨諸天食、日中諸仏食、晚夜鬼施食。

○御祈禱逐日則每日用之

仰惟三宝 咸賜證知

上來看閱、大般若波羅蜜經、毘盧法王大藏經文、金剛般若波羅蜜經、觀音普門品、大悲圓滿無碍神咒、消災妙吉祥神咒、所集殊勳回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、祝貢(37a)

護法諸一一、今年歳一一善惡聰明、今上皇帝本命星君、大檀那支干本命

元辰吉祥星斗、大運小運正一、當山土地守護伽藍合堂真宰、九万八千軍神二千八百童子、此十二字語御動坐祈禱用之而已

尽日本國內大小福德一切靈神、專祈、大檀那身宮康健、福壽延長、国土昇平、兵革永息、御動坐用之次翼、山門鎮靜、海衆咸安、火盜潜消、諸縁吉利、十方三世一一蜜。

○同滿散回向

歎仏偈、不可思議大或云、總持有妙藥、能療衆惡病亦如天甘露、服者常安樂

仰惟三宝 咸賜證知

大日本國山城一一南禪々寺住持比丘某 消取吉日良辰、崇健禳災、集福道場、

今上皇帝、近日以来ニウチイ 不安、至今未獲痊愈ビワセンイ、自悲ヒ、三宝加被ヒ諸天護持、無能自保

由是此一行有疾時用之 謹集合山僧衆、逐日上殿、看閱、大般若波羅蜜多經、金剛□□、

觀音普門品、大悲□、消災災妙□、今當滿散諷誦、大仏頂万□呪、化貢淨財經

馬等、所集殊勳回向、真如實□、十方常□、無量聖賢、大慈悲□、金剛會□、

八大金剛、無量金剛聖衆、祝猷、護法諸天大権真宰、三界應禱聖聰十方無極玄造、

今年歲分□善惡聰明、皇帝本命元辰吉凶照臨星斗大檀那支干本命元辰大運小運正照傍臨吉凶星斗 (37b)

當□護法祠山正順□、伽藍土□、乙護法天童、日本國伊勢□、八幡□、賀茂□、

松尾□、平野□、稻荷□、春日□、巖島□、日吉□、住吉□、若宮□、諏訪□、

祇園□、北野□、熊野□、御靈□、綾戸□、九万八千軍神、二千八百童子、御動坐用之

尽日本國內一切靈神、各宮侍衛神祇、專祈、

皇帝万歲天下太平諸仏龍天蜜垂加護大檀那身窮康健福壽延長國土昇平兵革永息 次冀、若有疾則、某見今所患乞賜痊愈□□□□、蜜垂加護身窮康健福壽延長

山門鎮靜、内外咸安、火盜潜消、諸縁吉利。十方三世□□蜜。

营造殿堂卓得、圓成梁棟、ソシ堅牢柱礎、ジシ鞏固良匠、無災無難。造宮祈禱則專祈之次可入此語也。

○山門立柱諷經疏 歎仏□ 不可思議□ 紙数五丁 六十九行

佛功德海 難尽讚揚 山門立柱、長享三年己酉七月初八日

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山□南禅々寺住持比丘某同知事僧某等

所伸情旨上達、聖聰、本寺揔建、山門涓取年号幾年月日吉日良辰

立柱欲得基址堅牢須憑聖賢護佑、由是謹集合山清衆諷誦、

大仏頂万行首楞嚴神咒、消^災妙吉祥神咒、化貢淨財經馬等、所集殊勳回向、

真如實際莊嚴無上仏果菩提、十方常住、三宝果海、無量聖賢、本師釋迦如來、(38a)

大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、金剛會上四大菩薩、八大金剛、無量金剛聖衆、祝貢

方等會上護持正法大功德尊天、大辨才尊天、大梵尊天、帝釋□天、東方持國天王、

南方增長天王、西方廣目天王、北方多聞天王、摩醯首羅尊天、金剛蜜迹尊天、

散指大將尊天、菩提樹神尊天、堅牢地神尊天、三洲護法韋馱尊天、摩利支尊天、

訶利帝南尊天、鬼子母尊天、尽天輪界内無量諸天仙衆、日月兩宮天子、南北二斗星君、

護法諸天大權真宰、三界万靈、十方至聖、今年歲分主執陰陽權衡造化賞善罰^惡

一切聰明、南方^火德星君^火部聖衆、普庵祖師會下百万^火首金剛無數天龍八部、

今上皇帝本命星君、大檀那^{支干}福祿壽星、堂頭和尚本命元辰、合山僧衆建生乾象、

日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩、賀茂上下大明神、松尾一、平野一、稻荷一、春日大明神、

住吉一、日吉山王、祇園牛頭天王、北野天滿大自在天神、嚴島一、諏訪上下大□□、

熊野三所大明神、御靈八所大明神、綾戸大明神、賀州府南三所大明神、遠州大□□、

本寺莊等処、各々諸大明神、諸大權現、捻日本國內大小福德一切靈神、各宮侍衛神祇

厨司監齋使者、主湯^火井竈神祇、修造方隅禁忌神將、尽祈禱會上無邊靈貺憑□

善利普用四教。專以保佑、皇風永扇、帝道遐昌、佛日增輝、法輪常轉、風調雨順、五穀□(38b)

登、万民和樂、專祈、殿堂營造、仏法紹隆、梁棟堅牢、柱礎鞏固、^{ジシキヨウク}良匠、無^災無難。更冀

山門鎮靜、海衆咸安、檀信帰崇、所縁吉利、四恩総報、三有齊資、法界群生、同圓種智者、

右伏請 三宝請明 諸天洞鑑 謹疏

太歲 支干 年号^幾年月日、五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘某疏

諷經 功德 文疏 祝獻

十方常住三宝果海無量聖賢

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州一南禪々寺住持比丘某同知事僧某謹封

○大佛殿立柱諷經疏

伯封手書云、當寺大仏殿立柱日、帰雲玄溪正悟西堂、為維那職以故、就月峯正昇西堂借此疏略寫焉。

娑婆世界南瞻部洲大日本國山城州五山之上住持比丘某 同知事僧某等

所伸情旨本寺揔建、大仏宝殿^{クセン}尅選某月某日、先且立柱欲得基址^{キシ}堅牢須憑聖賢

護佑^{ユウ}、是以命合山僧衆諷誦、大仏頂万行首楞嚴神咒、以下如常

皇風永扇、帝道遐昌、仏日增輝、法輪常轉、兵才^{エンシ}偃息、国界昇平、五穀豐登、万民樂

業^子、然後專祈、建立堂殿、早得圓成、梁棟堅牢、柱石鞏固、匠作之人、^{ヨウ}無難。更冀

山門寧靜、内外咸安、^{火盜}双除^{サウジ}、公私兩泰、庫司豐盛、旦信^{タン}歸崇、海衆安□、□□吉□、(39a)

本寺檀那、身安壽永、福集^災消、子孫繁興、家内光顯^{先イ}、外護仏

帝^ツ図、不尽功德、四恩普報、三有均資、法界群生、同圓種智者、

太歲一一

常住 三宝 果海 真流

祈禱 會上 無邊 聖賢

娑婆世界南瞻部洲大日本國一一住持比丘某同知事僧某 謹封

○秉拂^并問禪祈禱回向 歎仏偈 不可思——

仰惟三宝 俯垂昭鑑

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺^{某院} 寓住比丘某、

今月涓取吉日良辰崇建除^{穢イ}保安集慶道場因茲祈禱、^{如来結制〔一〕}
^{書雲〔一〕}

曇華堂上、^{秉拂}問禪 提唱竦動衆聽、謹集現前清衆 ^{看閱、大般若波羅——}
^{諷誦、白傘蓋無上}

即時滿散同音諷誦、大佛頂——、回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、十方常住、

三宝果海聖賢、本師——、須弥——、以下如常。專祈、

^某身宮康健、福壽綿延、音聲亨通、吉祥如意、說法無礙、智恵圓明、得無畏心、作大 (39b)

事、一切願望皆悉圓成、次冀、某門鎮靜、中外咸安、^{火盜}潜消、諸縁吉利、十方——。

或云、三宝哀憐、^{アイレン}諸天擁護、^{イシウ}無始罪因、^{ズイイン}當下消滅、^{チイカイシ}即体嘉運、^{ゼハシフ}應念現前、舌翻富□

^{ナシヘンラン}那之辯瀾、^{ヒヨウザン}胸湛妙吉祥之智海、^災千遠遁、万善咸臻、^{スイ}說法人中、^{チイ}最為第一。

○孟蘭盆施食回向 歎仏偈 佛身充滿——修正滿散仏

仰冀洪慈 俯垂昭鑑

大日本國^{某州某寺} 住持比丘^某 某門今月十五日 伏値

乃納子自恣之辰、孟蘭盆救苦之日、看誦、經咒

當備六味珍饈以伸供養、謹命現前清衆、称揚聖号課持秘咒同音諷誦

大仏頂万行首楞嚴神咒、所鳩善利仰贊、十方常住、三宝果海、無量聖賢、祝献

天界列位一切聖衆、地界水界大小明靈、日本國內諸大明神、諸大権現、三界万靈、

十方至聖、憑茲善利普用回嚴、所冀

同受法味以護仏祖之化門、各增威光而除國家之^災障。專祈、

資薦各人多生父母、歷劫冤親、河沙餓鬼咸出迷衢、同登覺路、十方三――

○施食回向 歎仏偈 佛身充滿―― (40a)

仰冀洪慈 俯垂昭鑑

大日本國^{某州}某庄、居住奉三宝弟子某氏名 今月幾□ 伏値

^{某名}禪門^幾忌之辰、當備香燭茶湯清淨法膳以伸供養、

謹命現前清衆、稱揚聖号課持秘咒、今當滿散同音、諷誦

大仏頂万行首楞嚴神咒、所鳩善利仰贊^{讃イ}、十方常住、三宝果海、無量聖賢、祝獻

天界列位一切仙衆、地界水界大小明靈、日本國伊勢太神宮、八幡大菩薩等、

大小福德一切神祇、三界万靈、十方至聖、憑茲善利普用回嚴、伏願

^{某名}、多生罪垢^{スイク}憑仏日以消除、歷劫冤親、伏慈風而蕩滌、化苦海而為法海、回業

緣而作善緣、無辺幽靈河沙餓鬼、同受法味俱登覺場、十方三世一切――蜜。

○逆修壽牌^并回向

壽牌

預修功德主 某 壽位

現在某 預修生七齋位

歎仏―― 性天廣大 佛日增輝 十界照燭 無不含融^{アンイウ} (40b)

仰冀三宝 咸賜證知

大日本國^{某州某郡}、居住^某情旨、感天地覆載之恩、荷日月照臨之德、
人身難得已得於人身、聖世難逢已逢於聖世、生前預不修善果、沒後將何作
津粮、是以謹發誠心、涓取今月今日、就于^{某院}

虔備香齋供養、三宝聖賢、仍請合山僧衆諷演

大仏頂一一、所集功德回向、真如實際莊嚴無上仏果菩提、常住三宝果海

真流、靈感觀世音菩薩、地藏願王慈尊菩薩、冥府十殿王子賞善罰^惡

使者、三界万靈十方真宰、今年太歲至德帝君權衡造化聰明、

護法諸天大權仙衆、捻日本國內外大小福德一切靈神、護伽藍神、合堂真宰、

匝寺香^火、所有賢聖、伏望聖慈、俯賜鑑納、專祈、

國泰民安、風調雨順、次冀、^某現生之内、身安壽永、福集^災消、娑婆報滿

之時、臨終正念、決定往生淨土、永脫輪回、不尽功德、上報四恩、下資三有、

法界含生、同圓種智、十方三世一切一一蜜。

○又 歎仏一 佛身充滿一一 仰冀三宝 □□□知 (41a)

大日本國^{某州某郡}、居住奉三宝弟子^某、正當今月今日伏「」回忌、

就于 當山施財設齋寫^某經王修七分全得勝業

拜請^某堂頭大和尚、拈香仏事之次、虔備香華灯燭茶果珍羞之儀、以伸供養、

謹命現前清衆同音諷誦、大仏頂萬行首楞嚴神咒、所集集勳回向、

十方常住三宝果海無量聖賢、祝獻、閻羅王官五道十王冥界冥府無辺陰宰、
憑慈善利普用回巖、專祈、現在安穩開千^災消除之門、後生仏前
履八正菩提之次、十方三世一切――蜜。

○又 歎仏偈 性天廣大― 仰冀佛天 俯垂昭鑒

大日本國某州某処、居住三宝弟子^{某幾}之辰、伯封云、百ヶ日ト入ヘシ

預懼當来苦報逆修滅後善根、特消今月今日就于 當院莊巖〔 〕

謹命現前清衆同音諷誦、大仏頂万行首楞嚴神咒、所鳩善利專為□

壽位資薦報地、伏願、一段靈光忽現無辺罪暗悉除、智恵宏深、

行願堅固、現報當報、俱得安寧、内魔外魔、都無悩乱、餘裕保持、

後裔大悲利濟群生、十方三世一切――蜜。(41b)

○又

大日本國某州某村、居住^某、預懼當来苦報逆修滅後善根、始從中陰^{シジ}

終迨遠忌逐一作佛事至誠自回巖^{作善}、今當滿散、謹集現前清衆諷誦、

大仏頂萬――、所集功德回向、真如實際常住三宝果海聖賢、所冀、

某一段靈光忽現――。以下同前。

○逆修懺法陳白 歎仏偈 性天廣大―

仰冀三宝 俯垂昭鑒

大日本國某州某郡、居住功德主^某、預懼當来苦報逆修滅後善根、

今月消選吉日良辰、棄捨淨財莊嚴道場、拜請現前清衆依教熏修
圓通吉祥妙懺、諷演經咒以成七分全功、所集功德回向、

十方尽虚空遍法界四聖六凡平等空尽貪瞋癡海當念円成戒定惠門、入

法性海諸仏同等濟度凡流讚助神道仰贊、真如實際、常住三宝果海聖賢、

大慈悲父廣大靈感觀世音菩薩、及一十三仏祝貢、上所奉請天界列位一切聖衆、

地府十大真王七十餘司陰邦吏徒水海靈神、三界万靈、十方至聖、(42a)

今年歲分主執陰陽權衡造化賞善罰_惡一切聰明、

日本國內大小福德一切神祇、當境旺化護法善神行_災主病一切明□、專願、

今日功德主_某現在安穩開千_災消除之門、後生仏前履八正菩提之路、次祈、

延我現世之壽命、植我後生之福基、普導世間、同圓種智者。

○同小回向

上來現前一衆各運至誠五体投地、依教熏修圓通吉祥妙懺、諷演經文、所集

無限良因、專祈、今日功德主_某福注東海之波瀾、壽陪_{ホイ}南山之松柏、現世

安穩後生仏前、上報四恩、下資三有、法界含識、同證圓通。

或、身心安泰、長保天壽、億万之年、仏法現前、頓超冥資七分之福、普

導含識、同證圓通。

或、同乘般若之正因、圓成菩提之妙果、現世安穩後生善處、以道受樂亦

得聞法、既聞法已、離諸障礙、無_災無難、吉祥如意、四恩三有、均被

善功、法界含情、同圓種智。

○十佛名 平和哀靈有口傳 (42b)

伯封傳予云、粥齋時自十方字、次第拳音、至三世拳音、有口傳、自清淨法身、至弥勒尊佛、巡槌順也。自十方三世至觀世音——巡槌逆也。自諸尊菩薩至波羅蜜順也。

稽首薄伽梵圓滿修多羅、大乘菩薩僧、功德難思議。仰憑尊衆念。

清淨法身毘盧遮那佛、圓滿報身盧舍那佛、千百億化身釋迦牟尼佛、

當來下生弥勒尊佛、十方三世一切諸佛、大聖文殊師利菩薩、大乘普賢菩薩、

大悲觀世音菩薩、諸尊菩薩摩訶薩、摩訶般若波羅蜜。

○粥咒願。シユウジリ粥有十利、ゼウイアンジン饒益行人、コハウフヘン果報無辺、キウキンシャウラ究竟常樂。

○齋咒願。サンテルミ三德六味、シブギスン施仏及僧、ハカイユウシン法界有情、フツンキウヤウ普同供養。音声引様有口傳。

私
諷經回向

上來諷經功德奉為^某、靈位莊嚴報地、十方——<sup>榮雲院殿道圓大禪定門
榮光院殿妙圓大禪定尼</sup> (43a)

○後土御門院崩御渡諷經回向 就于伏見般舟三昧院、明應九年十一月十六日

歎仏偈 妙情圓明、シヤウ離諸名相、ブヨウ靈光獨耀、イントケンジン迴脱根塵

仰冀神儀、俯垂昭鑒 明應九庚申十一月十六日、堂司梵恕、住山蘭坡和尚
上書諷經。

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持傳法臣僧 景蔵、

就于 本院虔備香華灯燭茶果珍羞、以伸供養、^{エン}延集合僧衆、諷誦

大佛頂万行首楞嚴神咒、所集殊勲奉為、

後土御門院資嚴仙駕、伏願、神遊^{イウ}八極、^{シヤウ}想雲車風馬之來臨、

位登九天、受玉^{シュニウ}殿瓊樓^{キンロウ}之快樂、十方三世一切——蜜。

○小院住持^并座元回向

歎仏一、淨極光通達——仰冀三宝——

伏願句、性空自悟脫人間生死根塵、心識圓明入如來宝明空海。(43b)

△伏願

重提祖印、暉佛日於中天、再整頹綱、扇慈風於末運。

尊宿

劫外、春光熟五葉一花之果、機前靈鑑、開四方八面之門、了^二自己心^一佩^二如來印^一。 僧

了法界性非男非女、不二門処々金彰、證清淨体無悟無迷、三昧海塵々涉入、

優曇花敷給孤園、摩尼珠献光明藏。

女

如來極樂世界、以無住而為住場、長者給孤独園、即故家而為家舍、修證如是、受用現前。 男

以身以心、六殊勝見聞不昧、日福日壽、八吉祥左右逢原。

集福

年長歲久、吉祥与瑞慶駢臻、日居月諸、福德与壽齡綿遠。

生日 (44a)

△金剛王宝殿 上梁兩牌銘

伏願玉葉重芳、鞏邦基於盤石之固、金輪統御、延皇祚於箕翼之鳥、

次冀、干戈永罷、家國安寧、五谷豐登、万民樂業。

永仁元年太歲癸巳十一月日、開山檀那 金剛眼 謹立

恭願、本寺大檀越佛心頓悟、堯仁日新、化洽大千沙界、壽逾百億須弥、更希

金剛場裏、仏日增輝、般若林中、祖風永扇。

永仁元年太歲癸巳十一月日、住持傳法沙門釋 祖圓 敬白 (44b)

○修正看經榜式 紙數八十二枚、山門之字、至神祇之字、三十四枚書之、自齋前

字至僧名堂司勝之字四十八枚書之、紙之次目各有印。

山門 大字

住持某和尚令某官位書大字、某甲書小字。年号支干正月
初五日、堂司某誌之。

修正經懺之榜

大字、住持——和尚筆。小字——筆。

右伏因一念普觀、無量劫三萬六千日、只在剎那微塵中、轉大法輪、十二部真經、

捻為半句、閱歲月之新、々不住居寰、區而擾々奚、為從實際、理地無動作、

相而起重修、向仏事門中、絶希求心而、專禱扣原始、要終之在是、居安資深、之

所宜入定、安禪十方、世界如々不動、開經演懺、百億山河、歷々對揚、語其功天上天

下、希有之功、論其德世出世間、異常之德。

聖皇聖后、自此享無疆之聖壽、龍子龍孫、由斯繼永固之龍図。 大字

大功德天、大辨才天、大梵天、帝釈天、持國天、增長天、廣目天、多聞天、摩醯天、蜜迹天、

散脂天、菩提樹神天、堅牢地神天、韋駄天、訶利帝南天、鬼子母天、摩利支天、日月

天子、南北星君、南方^火德星君、周天列曜、匝漢星辰、今上皇帝、祠山大帝、大權

修理菩薩、伽藍土地、護法明王、掌簿判官、感應使者、乙護法天童、伊勢太神宮、

八幡大菩薩、賀茂下上大明神、春日大明神、巖島大明神、諏訪上下大明神、祇園牛頭 (45a)

天王、北野天滿天神、熊野三所大權現、府南大明神、総日本國六十餘州諸大明神、

諸大權現、各宮侍衛神祇。 大字

齋前 大字

大般若經

各人一卷

堂頭和尚 黃紙書之

前堂首座 書記

西藏主 知客

浴主 都寺

上副寺 典座

書狀侍者 衣鉢侍者

一 首座 一 三 首座

一 書記 一 書記

一 監寺 一 監寺

一 藏主 一 藏主

首楞嚴經

普門品

一 侍者 一 三 侍者

一 侍者 一 侍者

一 侍者 一 三 侍者

一 副寺 一 上座

一 侍者 一 上座

一 侍者 一 上座

一 侍者 一 侍者

一 侍者 一 侍者

一 侍者 一 侍者

一 侍者 一 侍者

一 侍者 一 副寺

一 上座 一 侍者

金剛經

一 侍者 一 三 上座

一 侍者 一 副寺

圓覺經

一 藏主 一 三 藏主

一 藏主 一 藏主

最勝王經

一 藏主 一 三 藏主

一 藏主 一 藏主

仁王經

一 副寺 一 三 侍者

一 侍者 一 侍者

法華經

一 侍者 一 三 副寺

一 上座 一 侍者

一 侍者 一 三 上座

一 侍者 一 副寺

懺法

初一日導師 初二日

一 西堂 一 西堂

初三日 初四日

一 西堂 一 西堂

初五日 初一日香華

一 西堂 一 首座

初二日 初三日

一 書記 一 藏主

初二日 初五日

一 藏主 一 維那

右具在前

伏希 但維那依勤之、旧可書之

三宝證明

證天洞鑒

今日日

堂司某甲 勝

右人衆多少可依時、首楞嚴經以下、人衆配分、可為少衆、前資以下戒臘次第、配之。參臨西堂七員
有之時者、五員懺法衆、二員、齋前齋罷、單寮上一員配之。

○大帝誕生看經榜

山門 二月初八日恭遇

當寺護法祠山正順昭顯威德聖烈大帝聖誕良辰、謹集合山大衆肅詣靈祠、看誦大乘經典、聊伸慶讚之誠。仰答匡扶之德者也。

粵以戒稟歸宗、僧夏預堂前單鉢位。廟居廣德詩仙稱天下鬼神爺、朝誦法華六萬預言功闢隋河幾千百里、方仲春賞敷八葉。應昌期靈降九天。

陰兵肅衛鉄騎雲屯在々作伽藍之主。聖烈尊嚴應玉炉香靄堂、現居士之

身。摧邪去惡、雷擊霆奔、翊正扶公、波騰岳立。爰自建長年、東臨日域、宏恢少

室心宗、始知大宋國西有祠山、夙秉驚峰口囑、禱號如鴻鐘答杵、照然若寶

鏡當臺肖忌恩義之者、先誅、侵盜常住之人、重罰。今此海衆同披梵典、仰

謝悃懃、未來劫數確、護禪林、益堅城塹。

謹榜

太歲支年 二月日

○初一日孟蘭盆結緣經榜式

梵語孟蘭盆、唐音解倒懸。其意曰、地獄餓鬼三塗八難之苦、如人被顛倒懸

故。承三宝力為之解下也。(468)

山門 謹依年規七月十五日 恭值 目連救母之日

地官赦罪之辰爰命 寺衆結緣、看誦經咒、普為各人多生父母夙世冤親六道

四生有情無情、俱蒙解脫、速至菩提、穡子用心、當行方便、具列經目于后。

○七月初一日

十年征戰殺人多、骨似丘血似河、仏子結緣經一卷、尽令度脱出娑婆。

右結緣經榜

○施食疏畢作三歸五戒

諸仏子等、欲脱苦輪、須仗歸依三宝。我今為汝歸依汝當聽受。

歸依仏、歸依法、歸依僧、歸依仏不墮地獄、歸依法不墮餓鬼、歸依僧不墮畜生、如來至真等正覺是我導師、我今歸依從、今以去、称仏為師、称法為師、称僧為師。

更不歸依邪魔外道、慈愍故、慈愍故、慈愍故。以上自歸依仏至慈愍故、三度念。第一度慈愍一、第二度慈愍二、第三度慈愍故三。

○諸仏子等、罪根濃厚惡業滋深、若不懺悔終難解脫、今當為汝懺悔、往昔

所造諸惡業、皆由始貪瞋癡、從身口意之所生、一切我念皆懺悔。三返。

○諸仏子等、我今為汝受持五戒、聞此戒者得免三塗八難之苦輪。汝當聽受、(46b)

一不殺生、二不偷盜、三不邪淫、四不妄語、五不飲酒。三返。

上來五支淨戒、汝等既聞、速離三塗同登彼岸。次大悲咒。一返。

大鑑小清規、施食文所有斛食饅頭飯等、淨尽推倒使餓鬼得食。

今寺々人工守住。自所望。大無慈悲心。維那差僧三人奉行、尽推倒不可留。

古老相傳云、斛食尽推倒、令衆人爭拾取之。如此則餓鬼得食。

○御忌勝式

山門 八月十六日、恭值、後醍醐上皇遠忌之辰、預於初十日虔就選仏場、開啓

追修道場合山僧衆、七日看誦、五部大乘真典所集功勳奉為、

後醍醐上皇神儀資嚴覺果者、

粵以四十九年、宣揚大法、蓋天蓋地、洒醍醐千百億身、應化無方、照古照今、懸

日月、露一滴頓消熱惱、被餘光悉破昏蒙、語其功世出世間、不宰之豐功、

論其德天上天下、難量之碩德、爰清商之仲月、思皇祖之登遐、開半月之

道場、閱三藏之妙義。憑茲上善仰答洪庥、

後醍醐聖廟神儀、恭願、在人則人王尊、在法則法王尊、得意生身興隆 (47a)

梵殺^翻、居仏而仏位勝、居祖而祖位勝、隨所住處、先闡禪宗、引導冤親、

圓成福智 謹勝

○龜山聖廟御忌

自嘉元三乙巳年陞遐至建武三年、改延武元年歲丙子三

十二年預於八月晦日、放參時仏殿掛看經榜、次早初一日

榜掛南禪院。

榜式

山門 九月十五日、恭值、先功德主龜山聖廟遠諱之辰、預於初一日虔就

南禪院開建、追修道場合山僧衆、看閱、

毘盧法寶大藏經律論文、半月日、至十五日滿散、所集功德勳奉為、

龜山聖廟神儀資嚴 仙駕者、

粵以四十九年、宣揚大法、蓋天蓋地、洒醍醐千百億身、應化無方、照古照今、

懸日月、霑一滴頓消熱惱、被餘光悉破昏蒙、語其功世出世間、不宰之豐功、論其德天上天下、難量之碩德、爰季秋之既望、思皇祖之登遐、開一旬有五之道場、閱三藏無辺妙義。鏗金鏘玉吐宮嚙微、發浪流水之清音、燒灯秉燭燃香散花、暢杳々入雲之梵音、憑茲上善仰答檀恩、

先功德主龜山聖廟神儀、恭願、在人則人王尊、在法則法王尊、得意生身 (47b)

興隆梵刹、居仏而位住勝、居祖而祖位勝、隨處光闡禪宗、蔭金枝玉葉

蟬聯保社稷龍凶鞏固。 謹勝 看經名銜 第一番 第二番

第三番 第四番 第五番

右具于前、各依次第齊赴道場、誠心玩味、貴使義天、朗耀心地開、

通仏恩檀恩、同時報答者。

今日日 堂司比丘某勝

○十二月十五日 出歲末結緣看經隨式

勝字不須大行不可疎字、大行疎則野、但得中可也。

山門 謹依年規拜命、合山大衆結緣看誦、諸部經咒功德仰報三宝、諸天法界聖賢護伽藍神、一年之內加扶之力、寺門鎮靜、海衆咸安、歲律云周、毋忘報德去也。經咒品目。 某經、某咒、同、々々々

右具于前幸希 衆悉

今日日 堂司比丘某榜

歲末結緣經滿散疏

小尽廿七日
大尽廿八日

晚間佛殿

(48a)

○達磨百丈忌始末礼同。半斎散忌諷經、堂前鳴鐘、衆集、便依列拜面立。

住持上香礼拜、点湯進食下嚙、侍者不竟、鳴鼓特為茶了、住持拈香仏事、次行者

鳴鉞。維那出問訊、兩班燒香、無借香。大衆同三拜。維那宣疏、住持跪炉畢、

拳楞嚴咒畢、回向。

○兩班出班拈香之法、老者少者各宜知之 大鑑禪師小清規

一 三仏・初祖・百丈・臨濟・開山・嗣法師、無借香問訊。其餘前住忌、則兩班人々、借住持香合内香燒之。故先問訊住持。借香。又回身問訊、謝住持也。

一 土地堂・四節念誦出班、但依元班立。無向内立。蓋無拜也。

一 維那於香炉左辺立、揖出班。但面一低頭問訊。不可以手搖揖兩辺。非法。

一 出班人、但正面合掌低頭小問訊出班、不可搖動身手兩辺相揖。非法。其上下肩人亦、小

問訊、不可搖手相揖。非法。歸班時、上下肩人亦小問訊。兩々對出。先問訊住持時、但

於後堂監寺面前所在立。問訊住持、却兩人面相向拈香。不可回身立、同問訊。却

進一二步、至香炉、兩人對手拈香。東班人右手、西班人左手。相向拈香。不可手相背。却

退一二步、同問訊。又回身不動步、同問訊住持。回身時、兩人向中相向回身。不可相背回身。(48b)

非法也。問訊住持畢、各分東西歸班。自然不相背。益可觀也。

一 佛祖忌出班、雖無借香問訊、亦須兩人面向中相向回身歸班。庶不相背也。兩人

問訊住持借香時、及回身問訊住持、但回身不動步。遠々問訊。不可直趨住持

面前相近問訊。非法。

一 日本様、古來至今、錯相傳習。直趨住持前、頭額与住持相磕着問訊。住持驚畏退身立。其兩人又趨近、逼面問訊。大可怖畏。雖曰尊敬之意、安知禮過成諂。今後可人々知而改之。爲美也。

一 出班時、合掌搖揖上下肩相揖、大不可觀、可勿習之。

一 兩掌相合但名合掌。若合掌低頭敬揖、此名問訊。今此方人、但合掌名曰聞訊。此亦錯誤傳習也。

一 坐具搭手、須在袈裟之下。

一 坐具開展處、向外搭之。多見誤以坐具背向外。又妄言、前輩一大名尊宿、以坐具背向外。堅執此說。殊不知。初与客人相見時、便相背也。又展時亦顛倒反逆。大非禮法、前輩豈不知禮法如此。乃知作此說者、齊東人也。(49a)

一 坐具展時、須從衣袖內邊、拈起坐具角展開。此爲順也。今則多從衣袖外邊倒拈坐具展開。此爲逆也。順則吉、逆則凶。知礼人皆從吉也。

一 兩展之礼、但如尋常展拜之法。坐具將尽及地。住持以坐具約而免之。遂収摺之。今人以坐具展開加額了、遂摺之。此非法。

一 古法小比丘見大比丘、必須展拜。一問訊便展坐具。大比丘堅以手約免之。或以坐具約而免之。小比丘収摺了、又慙懃必欲展拜。又展坐具。大比丘又堅約免之。小比丘収摺了。敬礼之心未息。乃以坐具、触地三而拜。之大比丘遂答之、一拜此其兩展、三拜之本意。礼拜之法自謙之法。坐具不敢全展。須上兩角摺轉些子。若新爲僧、坐具但半

展、兩重狹而禮拜。又拜時合掌低頭問訊。次先兩手托地。次兩膝至地、低腰妥身。仰展開兩掌、頭額至地、兩手兩膝頭皆至地、名五体投地。又拜仏之法。仰開兩掌、接承如來双足、叩頭而禮拜也。故曰頭面接足禮。今此方人、以兩手捏拳、不知何義。問訊之法、合掌深々低頭致敬。今人背腰俱曲、仰面合掌。大非禪僧威儀也。(49b)

○清水寺懺法規式之事

- 一 導師香華為代官不可勤指合有之可辞退。
- 一 香華單寮、以下可勤之。
- 一 大鉢自單寮至後堂、中鉢書記、小鉢藏主。
- 一 懺法辞退之仁、十六日放參、已前可報維那寮、若過尅不可叶。
- 一 十七日不赴仁可拔衆。
- 一 与隣單不可笑語事。
- 一 雖寒天不可着帽事。
- 一 一會不可立事。
- 一 滿散鉢終而可散事。

右条々先規如斯

○應庵祖師遺像

遊諸老門、真參實指、謁虎丘翁、潛符密契、初董妙嚴法席、臨機小試牛刀、及徒太白名山、万納摩肩連袂共妙喜而演化時号二甘露門起楊岐(50a)

以振宗聲名雷動一世論辯浩博、如長江大河之有源、德貌清明、似青天白日之無翳、洞裏桃花不混凡、劫外之春風在根柢、蜜庵真箇阿戎才、傑出叢林續芳裔。

右維那心芳藏主重書此尊像、南禪住持比丘崇鎮拜書。

天境和尚旧贊充本寮公用、文安丁卯臘月二十九日

○紀綱寮本回向双紙跋

荷擔佛祖大道、全憑神靈護持、然則尊仏敬神、直自靈山至今、毫髮不移焉。大鑑老人行道于兩朝之間、叢席大盛也、每月每日、諷經回向、集類即々則製行世久矣、只要香火千年、不令斷絶、方便尊人結如此。瑞龍堂司寮元置一本、日用受用甚善矣、争寮後人不知前人之勞不計遺却、堂司行者知要嘆其不便甘抽自囊、辨紙筆勸請好事者、重録永充堂司寮公用、其志願可敬古巖衲首座時整綱維、又是叢席一奇也。立定堅規、不許諸人借用、只貴万年不朽、因記歲月云、

貞治二年癸卯正月初四日 南禪龍淵室 此山妙在書 (506)

○結夏佛母

尔時世尊	從肉髻中	涌百宝光	光中涌出	千葉宝蓮
有化如来	坐宝花中	頂放十道	百宝光明	一々光明
皆遍示現	十恒河沙	金剛密迹	擎山持杵	遍虚空界

大衆仰觀 畏愛兼抱 求佛哀祐 一心聽仏 無見頂相
放光如來 宣說神咒

○解夏佛母

阿難是仏頂光聚悉怛多般怛羅秘密伽陀

微妙章句、出生十方、一切諸佛、十方如來、因此咒心、
得成無成、正遍知覺、十方如來、執此咒心、降伏諸魔、
制諸外道、十方如來、垂此咒心、坐寶蓮華、應微塵國、
乃至十方如來、傳此咒心、於滅度後、付仏法事、究畢住持、
嚴淨戒律、悉得清淨。(51a)

○尊宿念誦

或云、尊宿闍維幡文、無上大涅槃、圓明常寂照、凡愚謂之死、
外道執為斷。雖然專以諸行無常文、為優也。

白大衆、堂頭和尚入般涅槃。是日已過、命亦隨滅。如小水魚、斯有何樂。
衆等、當勤精進如救頭然。但念無常、慎勿放逸。恭哀大衆、肅詣龕幃、
誦持万德洪名、奉為增崇品位。仰憑大衆念。哀音。清淨法——十号。次
上來念誦諷經功德奉為、新示寂堂頭和尚、伏願、不忘願力再現曇華、
棹慈航於死逝波、接群迷於菩提彼岸、再勞大衆念。十方三世——蜜。

○赴龕

金棺自拳、遶拘尸之大城、旛旛搖空、赴荼毘之盛礼、仰憑大衆、称念洪名、
用表攀違、上資覺路念。清淨法——十号。

○山頭

是日則有新示寂、堂頭和尚、化緣既畢遽返真常、靈棺遍遶於拘尸、性火

自焚於此日、仰憑大衆、資助覺靈。南無西方極樂世界大慈大悲、阿彌陀佛。十念

上來稱揚聖号、恭贊化儀、体格先崇、俊機不容於仏祖用、開後學悲心仍撰於人

天、収幻化之百骸、入火光之三昧、茶傾三奠、香爇一炉、頂戴奉行和南聖衆。調經大悲
咒畢回向 (516)

上來念誦諷經功德、奉為新示寂、堂頭和尚、茶毘之次、增崇品位。十方三——蜜。

○全身入塔

切以双趺示相、紹靈鷲之遺規、隻履顯宗、表少林之垂範、全機隱顯、盛

法始終、仰憑大衆、資助覺靈。南無西方極樂世界大慈大悲。十念。

上來稱揚聖号、資助往生、惟願惠鏡無辺、慈雲廣布、四生界内、示不生不滅之因、六趣

道中、說無我無人之法、茶傾三奠、香爇一炉、頂戴奉行、和南聖衆。

上來念誦諷經功德、奉為新示寂、堂頭和尚入塔之次、增崇品位。十方三——蜜。

○亡僧念誦

切以、生死交謝。寒暑迭遷。其來也、電激長空。其去也、波停大海。是日即有

新圓寂 某名 生緣既尽、大命俄遷。了諸行之無常即寂滅而為樂。恭集

尊衆、肅詣龕幃、誦諸聖之洪名。進精魂覺路。仰憑大衆念。哀音 清淨——十号。

大悲咒畢 回向 上來念誦諷經功德。奉為新圓寂某名。伏願、神超淨域、

業謝塵勞、蓮開上品之花。仏授一生之記。再勞尊衆念。十方三世——蜜。

赴龕 (52a)

欲拳靈龕赴茶毘掩土埋之盛礼。仰憑尊衆誦諸聖之鴻名。用表攀違上資
覺路念。清淨法身——十号畢拳唱。阿弥陀大咒。

○山頭

是日即有新圓寂某名物故、既隨緣而順寂。乃依法以難提化茶毘焚掩土埋百年弘道之身、入

一路涅槃之境。仰憑尊衆資助覺靈。

南無西方極樂世界大慈大悲、阿弥陀仏。十念。

上來稱揚聖号、資助往生。惟願惠鏡分輝、真風散彩。菩提園裏開敷

覺意之花、法性海中蕩滌塵心之垢。茶傾三奠、香爇一炉。奉送雲程

和南聖衆。次諷經、大悲咒。回向。

上來念誦諷經功德奉爲新圓寂茶毘掩土某之次、莊嚴報地、十方三——蜜。(52b)

○出家并授戒略作法

先莊嚴道場而若堂舍若僧房、可依便宜。可設佛像淨机上、灯華香炉等、可
調之也。○次導師燒香合掌唱云、

奉請靈山淨土本師釈迦牟尼仏大覺世尊、奉請都史多天弥勒慈尊、奉請金色
世界文珠師利大聖尊、奉請十方諸仏菩薩、唯願降臨道場哀愍授受。

教出家人對四方、氏神、國王父母、各三拜。在家人者以旧俗服拜之、然而着出家服也。
二紙書、左右之字、分髮作二把。

○次礼十方偈云、皈依大覺尊、能度三有苦、亦願諸衆生、普入無為樂。三返

○次導師取剃刀唱云、毀形守支節、割受離所現、出家弘正道、誓度一切人。三返

○次剃髮偈、流轉三界中、恩愛不能斷、棄恩入無為、真實報恩者。三返

○次灌頂偈、善哉大_{丈夫}能了世無常、捨俗趣泥洹、希有難思

○次懺悔文、我昔所造諸惡業、皆由無始貪瞋癡、從身語意之所生、一切我今

皆懺悔。我心自空罪_福無主、觀心無心法不住。三返 ○次授衣次第

○次五条衣真言、唵悉多耶娑訶。大德一心念、我比丘弟子_某、此安陀會五条衣授一長一短割載衣持。三返 (53a)

○七条衣真言、唵度波々々莎訶。大德一心念、我比丘弟子_某、此鬱多羅僧七条衣授兩長一短割

載衣持。三返

○九条衣真言、唵摩訶迦婆々吒悉唎莎訶。大德一心念、我比丘弟子_某、此僧伽梨衣授

三長一短割載衣持。三返

○次鉢、大德一心念、我比丘弟子_某、此鉢多羅應量器、今受持常用故。三返

○次坐具、大德一心念、我比丘弟子_某、此尼師壇應量作、今授持常用故。三返

○次三皈依、南無歸依仏、南無歸依法、南無歸依僧。三返

皈依仏兩足尊、皈依法離欲尊、皈依僧衆中尊。三返

歸依仏竟、歸依法竟、歸依僧竟。三返

○次三聚淨戒、攝律儀戒、攝善法戒、饒益有情戒。三返

此三聚淨戒者、過去諸仏依此戒成正覺、現在諸仏修此戒成正覺、

未來諸仏侍此戒當成正覺、亦我等以此戒、為菩薩正因、此淨戒
從今身至仏身、能持否。能持、弟子可低唱也。

○次十重禁戒、不殺生戒、從今身至仏身、能持否。三返。不偷盜戒、從今身——。(53b)

不婬欲戒——。不妄語戒——。不飲酒戒——。不說人罪過戒——。

不自讚毀他戒——。不慳貪戒——。不瞋恚戒——。不謗三宝戒——。

○次可誦梵網經序、同回向。

上來說戒功德威力、現當二世悉地圓滿、乃至法界平等利益。

○諸亡者戒作法

奉請、三界六道能化濟度地藏願王菩薩、清淨大戒慈悲故。三返

今日所薦從今身至仏身、皈依仏竟、皈依法竟、皈依僧竟。三返

汝善男子 對三宝前發露懺悔。我昔所造諸惡業、皆無始貪瞋癡、

從身語意之所生、一切我今皆懺悔。 ○次三聚淨戒。見于前。

○次十重禁戒。見于前。 ○次回向。上來受戒功德、專以上報四

恩、下資三有。願以此功德、普及於一切、我等與衆生、皆共成仏道。十方三——。

○次梵網經菩薩戒序

諸仏子等、合掌至心聽。我今欲說諸仏大戒序。衆集默然聽。自知有罪

當懺悔。々々即安樂。不懺悔罪益深。無罪者默然。々々故當知衆清淨。諸ナルヲ (54a)

大德優婆塞、優婆夷等諦聽。仏滅度後於像法中、應當遵敬波羅

提木叉。波羅提木叉者即是此戒。持此戒時如闇遇明、如貪人得寶、如病者得差、如囚繫出獄、如遠行者得歸。當知此則是衆等大師。若住世無異此也。怖心難生、善心難發。故經云、勿輕小罪以為無殃。水滴雖微漸盈大器。剎那造罪殃墮無間。一失人身萬劫不復。壯色不停猶如奔馬。人命無常過於山水。今日雖存明亦難保。衆等各々一心勤修精進。慎勿懈怠懶墮睡眠縱意。夜即攝心存念三宝。莫以空過徒設疲勞。後代深悔。衆等各々一心謹依此戒、如法修行應當學。

皈命盧舍那、十方金剛佛、亦礼前輪主、當學慈氏尊、今說三聚戒、菩薩咸共聽、戒如大明灯、能消長夜闇、戒如真宝鏡、照法尽無遺、戒如摩尼珠、雨物濟困窮、離世速成仏、唯此法為最、是故諸菩薩、應當勤護持。

○次回向

上来看讀梵網戒品、所集功德、回向真如實際莊嚴無上仏果菩提

新圓寂 某信男、莊嚴樂土。伏願乘此戒筏、頓超苦海、受生於仏刹中、成覺於大涅槃岸。願以此功德、普及於一切、我等与衆生、皆共成仏道。十方三世——蜜。(54b)

○食前心経回向

上来諷經功德、奉爲、耕夫餉婦疲馬、蠅牛虻蚊、蠅蚊、蚯蚓、春炊人力供給淨人在者。福壽康寧、亡者往生淨土。十方三世一切——蜜。

○想念偈、此食色香味、上供十方仏、中奉諸聖賢、下及六道品。等施無

差別、隨感^{シア}皆飽滿^{ハウモン}、令今施受^{リンキンシシュテン}等、得無量波羅蜜^テ。

○稽首薄伽梵、圓滿修多羅、大乘菩薩僧、功德難思議。仰憑^{大尊}衆念。十号。

○点心偈、若食点心、當願衆生、增進仏道、供養三宝。

○菓子偈、若食菓子、當願衆生、化成甘露、供養三宝。

○布施偈、財法二施、功德無量、檀波羅蜜、具足圓滿。

○剃髮偈、剃除鬚髮、當願衆生、永離煩惱、究竟寂滅。

○沐浴偈、澡浴身體、當願衆生、身心無垢、内外清淨。

○楊枝偈、手執楊枝、當願衆生、心得正法、自然清淨。

○洗手偈、以水洗手、當願衆生、得清淨手、受持仏法。(55a)

○洗面偈、以水洗面、當願衆生、得清淨門、永無垢染。

○大便偈、左右便利、當願衆生、蠲除污穢、無姪怒癡。

○小便偈、若小便時、當願衆生、棄貪瞋癡、蠲除罪垢。

○凡預懺衆者、淨三業整威儀、入道場肅恭而坐定。鳴鼓鉦三通者為使、大慈大悲父尊、從補陀洛山紫竹林中、奉迎此道場之故也。鳴三通者表空無想無願

三大解脫也。不用以憍慢散亂之心。鼓鉦鳴時赴道場而、胡語亂道者非法也。殊不知懺摩二會終坐禪十息畢者、或収坐具、或不収、走出道場矣。又鳴鼓鉦三通、表奉送大士於旧處儀也。此時殊恭敬低頭而、待鼓鉦之終而、導師出道場、

者從後自老宿出也。敢莫以鉞慢之心、聽此儀焉。當磬之役者、預輕々鳴之也。凡打則聲咽、有損之失、輕打則響簧、添柔和之聲也。願救三陀羅尼懺悔即時、從二返之始、着意而可打乱磬、乱磬者任声高下打之。声又從磬高低唱之。緩急者、從磬声也。不明韻律者、莫打乱磬、却妨声名短長矣。始加衆者努力思焉。

經罷各々收念坐禪、数息十息、輕々鳴磬三声、收坐具退坐。鼓鉞三通畢、出道場矣。誦經止觀云、一人登高座、若唱若誦、此經文餘人諦聽尋常、同音誦普門品。坐禪觀音疏云、一嚴淨道場、二作礼、三燒香散華、四繫念、

五具楊枝、六請三宝、七誦咒、八披陳、九礼拜、十坐禪。

入定已打鈴、各收坐具而起立、導師回向、々々已時、打磬如常。

繫念数息、端身正心、結跏趺坐、繫念数十息為一念、十念成就已時、

起燒香為衆生故、三返。請上三宝、云々。見天台止觀中、尋常法則略之。

互跪天竺之儀也。謂左右兩膝之着地在。釈子皆右膝、若言胡跪音訛也。

長跪即兩膝齊着地、亦先下右膝、為毘奈耶尼女体弱、互跪要倒仏聽

長跪、々々天竺九儀之第六也。

二陀羅尼矧墀 詩引切、矧墀 徐殄切、膩矧墀 三陀羅尼阿盧珍 之引切

○入寺視篆之時入葛籠寺券之案文

勅諸曰、禪林寺松下殿盡未来際施入仏図也。願心不退仏法常住期至

龍華三會之曉者也。(56a)

○諸莊園

加賀國得橋郷、佐野村、笠間郷、府南御供田。

遠江國初倉庄、五箇郷、并新所郷。

播磨國矢野庄、大塩郷。備中國三成庄。

但馬國小佐郷、池寺庄。尾張國杜庄。

右具在前

○視篆之時都寺呈寺券壯之案文

當時庫司比丘 某

寺券一通

右謹申納

新命堂頭和尚 伏條

慈旨

年月日 庫司比丘 某狀

新命双字名 某印 (56b)

從方丈出則引合立紙

名字得ニハ堂司一ト書テ、侍衣西堂者之判有之。沙弥大僧成ハ寮ニ入□之。侍者□□ハ寮ヲ出ル時ノ請取也。(57b)

取請之下以資前

○請取一一侍者一一寮 新添之事
合二百
右攸請取如件
年号支干
某月日
看堂司某判
院 庵 侍真禪師
紀綱寮

取請之以成

○請取一一寮官錢之事
合貳貫二百文内 三百文 香錢
右攸請取如件
年号幾年
某月日
堂司一一
侍衣一一
都寺一一
西堂
一一首座
南禅紀綱寮

今時書新戒不謂非法也。他寺之時引合。寺中之時板原也。

取請之錢官

○請取一一侍者一一寮 官錢之事
合二貫二百文内 三百文 新添
右攸請取如件
年号支干
某月日
看堂司某判
院 庵 侍真禪師
紀綱寮

取請之寺他

○請取一一寮官錢之事
合二貫二百文内 三百文者 方丈香錢
右攸請取如件
年号支干
某月日
堂司
侍衣
都寺
西堂
一一官位
南禅紀綱寮

掛塔錢請取	
○請取――藏主掛塔錢之事	
合貳貫文内	一貫文者 方□□錢
右攸請取如件	
年号支干	
某月日	
堂司	
侍衣	
都寺	
西堂	
――官位	他寺勤旧請取如此
南禪紀綱寮	

度僧之請取	
○請取――沙弥大僧成粥齋料事	
合壹貫文	
右攸請取如件	
年号支干	
某月日	
看堂司某判	
――院	
庵	
侍真禪師	
紀綱寮	

――座元	單寮悉書
――都寺	諸位都寺
――首座	諸位首座
――書記	諸位書記
――監寺	諸位監寺
――藏主	諸位藏主
前資弁事	

引合横切而續之
小参目子持香調之
△目子 上書

(58a)

△掛塔之勝 ○從方丈送侍香寮、
或憑茲掛塔
或參隨掛塔

掛塔

一僧

某侍者 或上座

今日日

住持判

○從維那寮送首座寮并都寺寮

山門 掛塔

一僧

某甲侍者 或上座

今日日 堂司某報

○從侍香寮送維那寮

奉

上方慈旨掛塔

一僧

某侍者 或上座

今日日 侍司某報

公界事天授・皈雲之請取狀者、請取申出之。

○請取来 某日

一 禪師 和尚 祖堂茶湯料之事

合二百文

右攸請取如件

年号支干

某月日

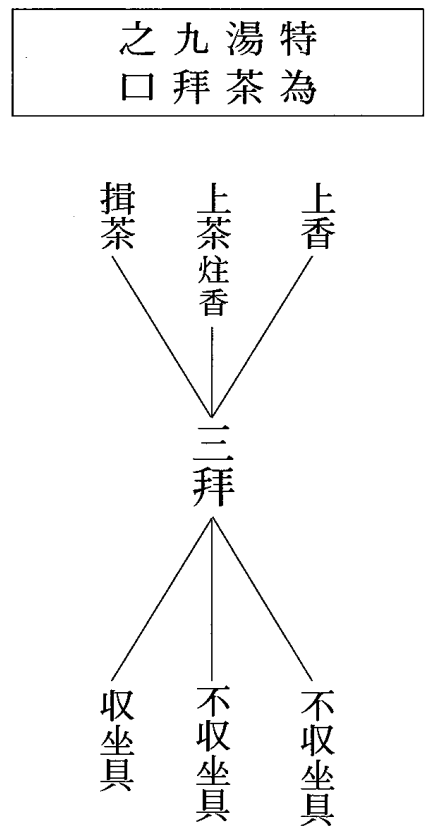
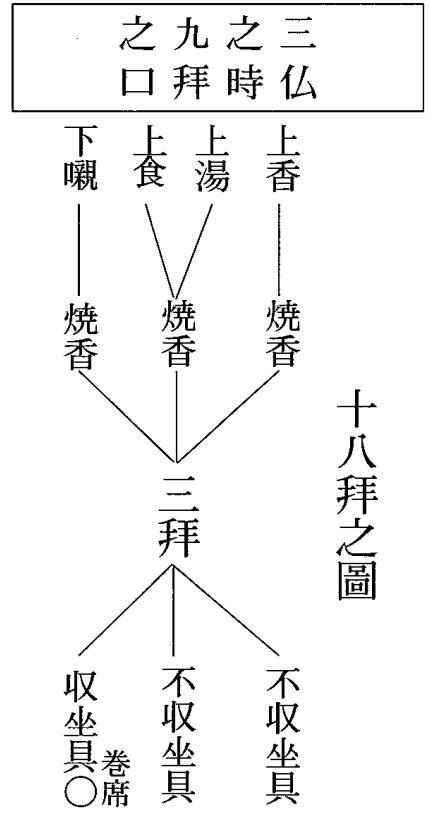
一 庵院 侍真禪師

看堂司某判

紀綱寮

桃洞寮 (58b)

十八拜之圖



前後十八拜

鼓ヲ打、後ノ九拜畢時鼓止テ鉦ヲ撞。列拜如常。

疏之時 比丘一拜 伸供養一拜 酬慈蔭一拜 年号ノ時収坐具立、其ノ時問訊。

日本疏之時如此。唐疏之時ハ無之。

開山忌四月一日。晚宿忌。^{九拜}住持燒香三拜、不収坐具、上茶三拜、上湯三拜、楞嚴

渡諷經。二日、土地堂畢、住持燒香三拜、不収坐具、上茶又上粥、一度ニ上ク、主作三拜、イツシテ三拜、献粥諷經畢、坐牌。上香上湯茶ノ十八拜。三仏ノ時二同シ。大悲咒也。

總見院殿ノ半齋。渡諷經。就于方丈齋。(59a)

△結夏。四月十四日午時、鳴鐘住持於方丈、疏銘了順道、本尊前ニテ茶

湯ニ供ノ立位。無三拜。鉦ヲ鳴、出班燒香。列拜了謹疏。楞嚴咒、

畢小回向。晚ニ鳴鐘赴法堂。住持祖師堂ノ燒香、畢テ祖師堂前ヨリ

於中央燒香、本尊前磬三打三拜、横ヲ回テ赴土地堂。維那供茶湯、住持

土地堂燒香ノ立位。鉦ヲ鳴維那机脇ニ行テ請住持、借香如常。
十五日

○東照宮回向

仰啓神祇 俯垂昭鑑

院門今月今日謹行。

東照大権現宮遷座之儀、肅詣

靈宮 諷誦秘事

所集殊勲 祝獻

東照大権現宮、專奉增崇神祇。十方々々蜜。(59b)

○正月十六日。晚百丈忌宿忌。住持九拜、楞嚴咒。

同十七日。先祖師堂諷經、次百丈獻粥、湯ハ先へ上テアリ。住持燒香三拜、次二

粥ト茶ト一度ニ供上テ位ニ立。無拜。諷經畢、疏銘。於法堂二十八拜。列拜。鼓鉦

鳴如常。次大鑑、大悲咒。後嵯峨院、大悲咒。無敬無之。

○東照宮回向 仰啓神祇 俯垂昭鑑

大日本国――住持比丘 崇五 寛文第三龍輯癸卯欽蒙

台旨修補 東照大権現宮、令茲甲辰秋九月十七日畢切謹行

遷座之儀、仍集合山清衆修禮圓通吉祥妙懺諷演、觀音普

門品・大悲圓滿無碍神咒、即時滿散同音諷誦、大佛頂萬行首楞嚴

神咒・消^災妙吉祥神咒、所集功德 祝獻 東照大権現宮、本地東方

藥師如來、合宮侍衛神祇、專祈加護、大檀那身宮安泰、子

孫昌盛、永祚皇家、保障常為、佛法金湯、天下太平、萬民和樂、更

冀靈宮鞏固、諸殿堅牢、院門鎮靜、中外咸安、^{火盜}消除、公私

清吉、檀信歸崇、諸緣吉利。十方三世——蜜。(66)

等持・臨川・瑞——真如・相國・寶幢・普門・廣覺・妙光。^上瑞泉・禪興。

台德院殿大相國一品光蓮社得譽日最勝無上士。寬永九未正月廿四日。

○台德院殿一品相國公 大尊儀、今還國尊□之。

謹而奉請涼雨

惠雲含潤、電光晃曜、雷色遠震、令衆悅豫、日光掩蔽、

地上清涼、飄颻垂布、如可承攬、其雨普等、四方俱下、流樹無量、

卒土允洽、山川險谷、幽邃所生、卉木藥草、大小諸樹、

百穀苗稼、甘蔗葡萄、雨之所潤、無不豐足。 伏冀

依茲經文功力、降下涼雨、受潤田畠、夏天一雨、稻禾生長、秋日五

穀、秀實充滿矣。年号月日 (66)

涅槃

淨法界身、本無出沒、
大悲願力、示有去來

仰冀真慈 俯垂昭鑑、山門今月十五日、恭遇

本師釋迦如來大和尚入般涅槃之辰、

虔備香華燈燭茶果珍饈以伸供養。

仍集合山比丘衆 諷誦

大佛頂萬行首楞嚴神咒所集殊勳、上酬慈蔭、伏願

闢末流之邪見、回季運之澆漓、

定慧兼修、長如正法住世、天魔率化、皆為外護宗綱、十方一一。

仏誕生

一月在天影涵衆水、一仏出世各坐一華
白毫舒而三界明、甘露洒而四生潤

仰冀一一、山門今月初八日 恭遇本一一 降誕之辰、

虔一一、仍一一、大仏一一、伏願

扇真風於末世、揭惠日於中天、

無佛無魔、法々宣揚玉偈、非垢非淨、塵々灌沐金軀^キ、十方一一。(61a)

佛成道

正覺山前、觀明星而悟道、
大千界內、揭惠日以流輝

仰冀真慈一一、山門今月初八日、伏值、本師一一成道之辰、

虔備一一、仍集合一一、大仏一一所集殊勳、上酬慈蔭、伏願

色空明暗、咸宣微妙法音、蠢動含靈、共證知惠德相、十方一一。

達磨忌 淨法界身、本無出沒、大悲願力、示有去來

仰冀真慈 俯垂昭鑒、山門今月初五日 伏值、

初祖菩提達磨圓覺大師大和尚示寂之辰、

虔備香華灯燭茶果珍饈以伸供養。仍集合山比丘衆、誦誦

大仏頂万行首楞嚴神咒、所集殊勲、上酬慈蔭者、伏願、

信衣表佛祖之重、力任千鈞、一華開天地之春、芳聯万世、十方――。

座元 湛々心光、破四生之幽暗、澄々覺海、超六度以圓明。

仰冀覺位、俯垂昭鑑、山門――、伏值 名 座元――之辰、虔備――、

謹集現前清衆、同音諷誦、大仏――奉為、覺靈莊嚴報地、伏願、

性空自悟、脫人間生死根塵、心識圓明、入如來宝明空海。

十方三世一切――。(616)

安座点眼回向 釈迦・弥陀・弥勒

大日本国 其州処寺 住持 亦寄住比丘尼願主法名 等、命茲土雕装三世如來尊像、有々力日越

捨淨財嚴装三仏之尊軀、殊涓下取今月今日吉曜良辰、拜命堂頭和尚、安座開光明、

拳掲宗乘、周圓仏事之次、率合山比丘衆、同音諷誦佛頂光聚大日傘蓋無上神咒、所

鳩鴻福、回向真如實際莊嚴無上仏果菩提、本師釈迦如來金剛無量佛當來慈氏尊、上

酬蔭、伏願菩提樹下示現白玉毫、芬陀華中瞻視黄金文。常在鷲嶺、不待竜華智入三

世而無往来、感應一時、不隔古今、闢末流之邪見、蠢動含靈、同發智慧光明雲、回季運之澆漓、

森羅万像、皆歸真如法界座、四恩等報、三有周資。

藥師安座点眼回向 我此各号、一經其耳、衆病悉除、身心安樂 特

仰冀三寶 感賜證知

大日本國、雕進藥師瑠璃光如來尊像一軀、時

涓^ニト今^ソ月其日吉良^ヲ、就^テ于^レ寺^ニ拜^シ請^フ其和尚^ヲ、開^キ光^ヲ明^ヲ、安^ソ宝^ヲ座^ヲ、讚^メ揚^メ佛事之次、謹^テ集^テ現^ノ前^ノ僧^ノ衆^ヲ、同^ニ音^ニ諷^シ誦^ス大^ニ佛^ノ頂^ノ萬^ノ行^ノ首^ノ楞^ノ嚴^ノ神^ノ咒^ヲ、所^レ萃^シ殊^ニ勲^ヲ、回^ニ向^ス真^ニ如^ノ實^ノ際^ノ莊^ノ嚴^ノ無^ニ上^ノ仏^ノ果^ノ菩^ノ提^ノ東^ノ方^ヲ、教^ノ主^ヲ、醫^ノ王^ヲ善^ノ逝^ス日^ノ光^ノ菩^ノ薩^ノ月^ノ光^ノ菩^ノ薩^ノ十二^ノ神^ノ將^ヲ七^ノ千^ノ夜^ヲ叉^ヲ、以^テ伸^フ祝^ヲ獻^ス。大^ニ日^ノ那^ノ本^ノ命^ノ元^ノ辰^ノ星^ノ君^ヲ當^ニ境^ノ守^ノ護^ヲ神^ノ名^ヲ、總^ニ國^ノ朝^ノ内^ノ大^ノ小^ノ神^ノ福^ノ德^ノ一^ニ切^ヲ、靈^ニ明^ノ護^ス伽^ノ藍^ノ神^ノ合^ノ堂^ノ真^ノ宰^ヲ。伏^ハ願^フ、開^キ眼^ノ之^ノ後^ヲ、開^キ十二^ノ願^ノ門^ヲ、利^ニ濟^ノ廣^ノ被^ノ遊^ヲ恒^ニ河^ノ國^ノ土^ヲ、應^ニ用^ノ無^ニ邊^ヲ、皇^ノ基^ノ鞏^ノ固^ヲ、佛^ノ宇^ノ安^ノ全^ヲ、專^ニ祈^ス、□日^ノ那^ノ身^ヲ宮^ノ康^ノ泰^ノ壽^ノ域^ノ長^ノ延^ヲ、衆^ノ善^ノ來^ノ集^ヲ、諸^ノ惡^ノ忽^ニ蠲^ヲ、災^ノ障^ノ不^レ起^ヲ、疾^ノ病^ノ得^レ痊^ヲ。更^ニ冀^ス山^ノ門^ノ鎮^ノ靜^ヲ、(62a)内^ノ外^ノ咸^ニ安^ヲ、日^ノ信^ノ歸^ノ崇^ヲ、僧^ノ行^ノ精^ノ進^ヲ、公^ノ私^ノ兩^ニ泰^ヲ、火^ノ盜^ノ双^ニ消^ヲ、恩^ノ有^ニ齊^ノ資^ヲ、冤^ノ親^ノ(一)及^シ法^ノ界^ノ慈^ノ救^ヲ含^ニ情^ヲ、明^ニ菩^ノ提^ヲ同^ニ登^シ彼^ノ岸^ニ。

地^ノ藏^ノ安^ノ座^ノ点^ノ眼^ヲ 現^ニ在^ノ未^ノ來^ノ天^ノ人^ノ衆^ヲ、吾^マ今^マ慇^ニ懃^ニ付^ス囑^ス汝^ニ、以^テ大^ニ神^ノ通^ノ方^ノ便^ノ度^ヲ、勿^レ令^レ墮^セ在^ニ。

諸^ノ惡^ノ趣^ヲ。 仰^ニ冀^ス慈^ノ悲^ヲ 伏^ニ值^ス證^ノ明^ヲ

日^ハ出^ハ搏^ニ桑^ノ開^ニ西^ノ蚤^ノ殖^ヲ德^ノ本^ヲ、為^ス資^ノ嚴^ノ當^ノ來^ノ之^ノ福^ノ田^ヲ、傾^ケ誠^ヲ捨^テ財^ヲ、雕^シ裝^シ地^ノ藏^ノ菩^ノ薩^ノ尊^ノ像^ノ一^ノ軀^ヲ、特^ニ涓^ニ取^テ今^ノ月^ノ其^ノ日^ヲ、拜^シ命^ヲ名^ヲ和^ノ尚^ヲ、安^ノ宝^ノ座^ヲ、開^キ光^ヲ明^ヲ、宣^シ揚^シ法^ノ語^ヲ、施^ス作^ス佛^ノ事^ノ之^ノ次^ヲ、率^ス現^ノ前^ノ緇^ノ侶^ヲ、同^ニ音^ニ諷^シ誦^ス大^ニ佛^ノ頂^ノ萬^ノ行^ノ首^ノ楞^ノ嚴^ノ神^ノ咒^ヲ、所^レ鳩^シ善^ノ因^ヲ、回^ニ向^ス真^ニ如^ノ實^ノ際^ノ莊^ノ嚴^ノ無^ニ上^ノ仏^ノ果^ノ菩^ノ提^ノ十^ノ方^ノ常^ノ住^ノ三^ノ宝^ノ果^ノ海^ノ聖^ノ賢^ノ六^ノ道^ノ教^ノ主^ヲ、地^ノ藏^ノ願^ノ王^ノ大^ノ菩^ノ薩^ヲ。次^ニ伸^テ祝^ヲ貢^ヲ護^ヲ法^ノ十^ノ八^ノ尊^ノ天^ノ三^ノ界^ノ之^ノ聖^ノ賢^ヲ。

總^ニ日^ノ本^ノ朝^ノ内^ノ六^ノ十^ノ余^ノ州^ノ遐^ノ途^ノ靈^ノ廟^ヲ、各^ノ宮^ノ侍^ノ衛^ノ神^ノ祇^ヲ、鄩^ノ都^ノ界^ノ内^ノ冥^ノ王^ノ冥^ノ官^ノ功^ノ曹^ノ典^ノ史^ノ等^ヲ。憑^ニ此^ノ善^ノ功^ノ普^ノ用^ノ回^ニ嚴^ヲ、先^ニ願^ス安^ノ座^ノ海^ノ開^ノ明^ノ之^ノ後^ヲ、大^ニ開^ニ心^ノ地^ノ之^ノ藏^ヲ、宝^ノ珠^ノ分^ニ光^ヲ於^ニ六^ノ道^ノ間^ヲ、深^ニ入^ニ賀^ノ字^ノ之^ノ門^ヲ、金^ノ錫^ノ振^ニ聲^ヲ十^ノ方^ノ界^ヲ、悲^ニ願^ヲ有^ニ怙^ヲ、慈^ニ濟^ノ忽^ニ忘^ヲ。專^ニ冀^ス、皇^ノ風^ノ与^ニ祖^ノ風^ノ永^ノ扇^ヲ、佛^ノ國^ノ兼^ニ神^ヲ國^ノ彌^ノ昌^ヲ、五^ノ穀^ノ豐^ノ登^ヲ、萬^ノ民^ノ康^ノ樂^ヲ。殊^ニ祈^ス、大^ニ日^ノ那^ノ全^ノ身^ノ勇^ノ健^ヲ、諸^ノ眷^ノ人^ノ寧^ノ病^ヲ、擯^ニ於^ニ他^ノ方^ヲ、吉^ノ慶^ヲ。

集^ム□合^ニ舍^ハ、有^レ求^シ心^シ應^シ、無^シ願^ト不^レ從^{スト}。次^ハ冀^ハ山門繁昌、僧道堅固、且信不退、魔撓無侵^{スル}、上報^レ四恩、下資^ケ六趣^ヲ、法界群類、同證^{クン}菩提。

觀音安座点眼 佛身法身 猶若虛空 應物現形 如水中月

仰願慈悲 伏垂昭鑒 (626)

爰^ニ有^ニ信心檀捨主、命^ニ工^ニ投^ケ寶^ヲ、雕^シ造^シ圓通大士聖像一軀。謹^テ涓^ヒ取^テ今月吉日就^リ于其寺寶殿、營^ニ備^ニ香花茶湯時羞^ヲ之除。拜^シ請^其和尚、開明安座贊^ニ揚^ル佛事^ヲ之次、闔山清衆同音諷^ニ誦^ニ大佛頂萬行首楞嚴神咒^ヲ、所^レ集功德、回^ニ向^ニ真如實際莊嚴無上仏果菩提大慈悲父廣大感觀世音、祝貢、梵^ニ釈^ニ四天總護天衆十方萬空真宰、今日旦那 支干 本

命星居大小二運正照傍臨、七曜九曜吉威乾象、當年屬星守官守道、一切靈星大

日本國伊勢皇大神、本州神名總日本國內一切神祇、下界冥府慈王冥官、諸司三

界幽顯十方凡聖功德平等、資^シ倍^シ普皆饒益^{ナラシ}、先願開光安座之後、為^{ナリ}三千正覺之

道師。現^シ四八端嚴之妙相、傳^ニ萬^ニ億^ニ香水海流通佛事^ヲ、長^ク為^{ナリ}菩提廣大願主。百千日月

光洞照^ニ普^ニ門^ヲ、永^ク作^{ナリ}衆生眼目。專^ニ祈^ニ、君臣道契、國家福昌、佛日增輝、法輪常轉^ニ、百穀

豐稔、萬民康寧。殊^ニ祈^ニ、大^ニ日^ニ那^ニ感^ニ持^ニ念^ニ之誠、罪^シ消^シ塵劫應供養之德。福^ク等^ク河沙、

有^レ病^災頓除^キ、有^レ苦^ハ惱^ス必救。合家有慶諸眷保^{タシ}安。殊^ニ冀^ハ、山門恢興、寶殿堅固、^{災盜}

不起、禪道無魔、且信帰崇、諸緣吉利、德^ケ資^ケ恩^ヲ有^レ、利^ヒ及^ヒ見聞、法界群情、同^ク□仁

澤者。 阿弥陀安座点眼 阿弥陀佛真金色——

仰冀^ニ三宝 咸賜證知

越^コ有^リ行^ニ日波羅蜜者、抽^テ丹悃施^シ淨財、

命工雕装金剛無量壽佛聖像一軀并二菩薩之像、欲安覺王寶殿、特消下今

月善日良辰、屈請其和尚令開□目、坐寶蓮之次、合山僧衆同音諷誦、大仏頂 (63a)

萬行首楞嚴神咒、所集功德、勲回向真如實際莊嚴無上仏果菩提、西方教主阿

弥陀如来、大悲觀世音菩薩、大勢至菩薩、以伸祝獻梵天帝釈四大天王、總天□□位一切

護法天衆、大旦那本命元辰福祿壽星 神名 總扶桑國內遠近靈聰一切神祇、同垂加被

納茲善功、普用回嚴。先願開光之後、示三十二相之微妙相、乘四十八之本願輪、塵々現九

品安樂蓮臺、来迎專念行者、処々化七宝莊嚴淨土、攝取極重惡人。專祈、君聖臣

賢、時清國泰、禾穀豐焚、人民康安。次冀、信心旦那現修現因、當得當果、信心和樂、

功德無窮。殊祈、寺門昌隆、堂宇堅固、僧行端肅肅、旦信歸崇、修造成功、資

緣豐足、四恩等報、三有均資、法界含靈、同圓種智。(63b)

歎仏偈

妙音觀世音 梵音海潮音 勝彼世間 是故須常念

仰啓仏天 俯垂昭鑒

大日本國若州小濱青井山安國高成禪寺住持比丘直簡

山門茲者謹命大冶鑄出洪鐘、今月今日消取吉日良辰、

掛着樓上、仍集現前清衆、諷誦大仏頂萬行首楞嚴神

咒所集殊勲、祝貢、護法諸天大權真宰、三界万靈、十方至聖、

今年歲分主執陰陽權衡造化善惡聰明、南方火德星君火部聖

衆、當山土地守護伽藍合堂真宰、修造方隅禁忌神將、匠寺香
火有禱神祇。專願、皇風永扇、帝道遐昌、佛日增輝、法輪常轉、
更祈、大檀那身宮安泰、福延長、家道興隆、子孫昌盛永
祚、那家堡障、常為仏法金湯。次冀、金口開張、建金剛法
會、雷音演暢、普化塵勞世間、山門鎮靜、内外咸安、火盜潜消、
諸緣吉利。十方三世――。

首八本寺也

單寮ノ請取

寮収ハ參貫五百入□、
如此当テ銀子文十目請取也

請取表卒寮官之事

合五貫五百文内

五百文者
新添

右収請取如件

寛永五戊辰年

九月一日

堂司一

侍者一

都寺一

西堂一

西堂一

玄昌首座

南禅桃洞寮

本寺首座之請取

請取望仰寮□事

合貳貫三百文内

三百文者
新添

右修請取如件

寛永五戊辰年

九月一日

堂司一

侍者一

都寺一

西堂一

西堂一

玄珍藏主

南禅桃洞寮

<p>為聖一國師三百五十年諱香資 合拾斛者 右収拜納如件 寛永六一 十月十一日 住持判 西堂一 西堂一 西堂一 南禪寺 納所禪師 東福寺</p>	<p>贈進 聖一國師三百五十年諱香資事 合拾石者 右収領納如件 寛永六己巳 十月六日 堂司 侍者慈西 西堂 東福寺 納所禪師 南禪寺</p>
--	--

(64b)

	<p>新掛搭之請取 請取玄永藏主掛搭錢之事 合壹貫文内 五百文者 方丈香資 右収請取如件 年号支十年 八月一日 堂司一 侍者一 都寺一 西堂一 西堂一 金地院 侍真禪師 南禪桃洞寮</p>
--	--

(65a)

一日 義天久味居士 十一月一日 久味 施□ノ日

五日 江山心公大居士 十月五日 南部住□□ヨリ

八日 桂昌院殿華屋妙榮大姉 正月八日 山岡圖

十日 廓然道意禪定門 四月十日 久味ノ孫也

十四日 孝叟正順禪定門 五月十四日 小崎亨以

十六日 自得紹由居士 三月十六日 ハイヤ紹由

廿三日 桃蹊見公首座禪師 三月廿三日 賀藏ノ見□藏

同日 惺方三以居士 卯月廿三日 以三親父

一日 正月 蓮馨院殿覺道圓心禪定門 高木由紹殿 (65b)

後開山南院國師三百年諱 回向

仰冀真慈 俯垂昭鑑 金地以心和尚也

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興南禪々寺住持比丘崇傳

山門慶長年四月初一日 伏値、

應詔創建本寺南院國師大和尚、三百年遠諱之辰、

虔備香華灯燭茶果珍羞以伸供養。

堂頭和尚、拈香讚揚仏事、

謹集現前比丘衆同音諷誦、大佛頂萬行首楞嚴神咒、

所集殊勲、上酬慈蔭、伏願 不捨悲心、憫三界六凡

之衆、再来末世、現一花五葉之春、十方三世一切諸佛——蜜。(66a)

△勅大覺叫天下独尊、茲開西竺勝會、□□現濁末□跋忽抽東土

初支。呈放光勅地之祥。具超宗越格之眼、見住南禪以心大和□

法門領袖、苦海揖航、薰南禪名藍、冠納免諸宗、鼓吹一代、司左街

僧録、統承千載光被六幽、謙說群書、舌翻波瀾、開示義法、口尽

口水、朕特加圓照本光国師号、以酬師 恩、更涉處辞、却汚無住者耶。

寛永三年十月八日

一之五、二本音、三漢音、四之二、五之三、入声不略。

甲^カ乙^イ丙^ヒ丁^ン戊^ム己^キ庚^{カン}辛^{シン}壬^ン癸^キ

子^ジ丑^ウ寅^{イン}卯^{バウ}辰^{シン}巳^シ午^ウ未^ミ申^{シン}酉^{イウ}戌^{シュ}亥^{カイ} (66b)

朔日、久味。^正八日、国。十日、廓然道意。^五十四日、亨齋。^三十六日、紹由。

廿三日、見公。^四同、三明。

覺道因心禪定門

大明國師三百五十年諱之回向 宝明空海——

仰冀真慈 俯垂昭鑑

大日本國山城州五山之上瑞龍山太平興國南禪々寺住持比丘元良

山門寛永庚辰今月十二日 伏值、開山大明国師大和尚、三百五十

年遠諱之辰、虔備香華灯燭茶果珍羞以伸供養。

拈香讚揚仙事、仍集合山比丘衆諷誦、

大悲圓滿無碍神咒、所集殊勲、上酬慈蔭、伏願

不捨悲心、憫三界六凡之衆、再來末世、現一花五葉之春、

十方三世一切——蜜。寬永十七年庚辰 前建長棟雲叟勤之 (67a)

元祿四年辛未、佛誕生日周圍修補焉

正因庵 (68a)